沖縄県
OKINAWA PREFECTURE

首里城がつなぐ
「過去」から「未来」へ・・・

首里城復興レポートVol.12
（R7年度まとめ版）

目　次

●首里城復元に向けた取組状況・・・・・・　2
●県の首里城復興に向けた取組状況・・・・　20
●首里城復興に係る寄附金の状況・・・・・　44
●これまでの県・国の動向・・・・・・・・　63

OKINAWA
よみがえれ！首里城

公式ホームページ　公式X（旧Twitter）

沖縄県　土木建築部首里城復興課

首里城復元に向けた取組状況

首里城復元に向けた取組み

○　令和元年10月31日の火災以降、首里城正殿等の復元に向けて、破損瓦等の撤去や焼失した建物の解体等を進めるとともに、首里城正殿遺構等の一般公開を実施。

○　一般公開をはじめとする「段階的公開」、正殿を皮切りとした「首里城復元」、それらの実施を通した「地域振興・観光振興への貢献」に取り組んでいる。

首里城復元に向けた「3本柱」

段階的公開

首里城復元に向けて進む破損瓦等の撤去や躯体の解体、復元工事の様子を、安全性を確保しながら一般公開を進める。



素屋根見学エリア

首里城復元

令和8年の首里城正殿の完成に向けて、関係機関と密に連携を図りながら、首里城復元に向けた技術検討委員会での検討を進める。



令和元年度　第3回技術検討委員会

地域振興・観光振興への貢献

首里城の段階的公開、首里城復元に向けたボランティア活動や公園イベントの開催を通して、沖縄の地域振興・観光振興への貢献に努めていく。



うるし塗り原料“ニービの粉”製作ボランティア

首里城ドローン写真 （令和元年11月1日時点）

沖縄総合事務局



令和元年10月31日未明に発生した火災により、9棟の建物が被災（全焼：7棟、一部焼失：2棟）。

火災発生後１年目の取組

令和2年10月：世誇殿の改修



令和2年6月：見学デッキ設置



令和2年2月～：建物の撤去、瓦等の撤去



火災発生後2年目の取組

令和3年10月：北側見学通路オープン



令和3年6月：工事用仮設道路設置



令和3年3月：奉神門応急復旧完了



火災発生後3年目の取組

令和4年3月：工事用仮設道路（東側）設置



令和4年9月：木材倉庫・加工場、原寸場整備



火災発生後4年目の取組

令和5年9月: 木造軸組建方　開始



令和4年11月：正殿本体工事起工式開催



素屋根

見学エリア

令和5年8月: 見学エリアの一般供用



令和5年2月: 木材加工の開始



火災発生後５年目の取組

令和6年7月: 赤瓦の搬入・葺き　開始



令和5年12月: 木造軸組建方　完了



令和6年8月: 外壁うるし塗装　本格開始



令和6年5月: 唐破風　取付け



火災発生後6年目の取組

令和7年10月: 素屋根撤去　完了



令和7年5～6月: 龍頭棟飾・鬼瓦　設置



令和7年7月: 正殿外壁うるし塗装　完了



令和7年5月: 唐破風妻飾　取付け



首里城ドローン写真 （令和8年2月9日時点）



正殿復元に向けた仮設施設の整備状況



首里城正殿等の復元に向けた工程表

（年度）

		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9 以降
正殿	材料調査（大径材）		市場調査							
	設計			基本設計 / 実施設計						
	材料調達（大径材）				調達・乾燥					
	工事		仮設道路 / がれき撤去		木材倉庫 / 発注手続（WTO）		本体工事			
北殿、南殿等			撤去 検討	正殿復元の施工ヤードとして使用					工事	

令和2年3月27日首里城正殿等の復元に向けた工程表

今後の工事スケジュール（予定）

2023 令和5年度	2024 令和6年度	2025 令和7年度
○素屋根、見学者用階段・EVの建築	○木材の造作工事、木彫刻の取り付け	○外部彩色、内部彩色
○基礎工事	○屋根瓦葺き開始	○素屋根・木材倉庫解体
○木材加工、建方工事開始	○塗装工事開始	○両廊下の整備開始





R7年12月　両廊下整備



R8年2月　内部彩色

今後の工事スケジュール（予定）

2023 令和5年度	2024 令和6年度	2025 令和7年度	2026 令和8年度
○素屋根、見学者用階段・EVの建築	○木材の造作工事、木彫刻の取り付け	○外部彩色、内部彩色	○外構工事
○基礎工事	○屋根瓦葺き開始	○素屋根・木材倉庫解体	○正殿・両廊下　完成
○木材加工、建方工事開始	○塗装工事開始	○両廊下の整備開始	



完成時イメージ

令和7年度首里城復興祭関連イベント

１．国王・王妃選出大会

日にち：令和7年7月20日（日）

場所：沖縄県立博物館・美術館　3階講堂

首里城公園が掲げる「見せる復興」を盛り上げるとともに、琉球王国の歴史と文化の魅力を発信する役割を担う。国王・王妃の選出大会を実施。 国王は28名、王妃48名の応募の中から、国王役に又吉祐介（またよし　ゆうすけ）さん、王妃役に砂邊由美（すなべ　ゆみ）さんが選出された。



国王役：又吉祐介（右）
王妃役：砂邊由美（左）

２．首里城復興祭

日にち：令和7年11月1日（土）～11月3日（月・振休） 3日間開催

場所：首里城公園及び公園周辺、国際通り

実施プログラム：①琉球王朝絵巻行列　②琉球王朝祭り首里 古式行列　③国王・王妃出御　④首里城復興 特別見学ツアー
⑤琉球芸能公演　⑥首里城復興祈念ステージ　⑦首里城VR体験 ⑧琉球の泡盛の枠 in 銭蔵

入園者数：26,196人（3日間合計）

首里城復興祭では、メインイベント「琉球王朝絵巻行列」において約600人が参加し、演出面でも新たな試みを取り入れることで、華やかさと賑わいを創出した。また、「琉球王朝祭り首里 古式行列」では伝統的な行列が厳かに再現され、多くの来場者の関心を集めた。
園内では、琉球芸能公演や復興祈念ステージを通して多彩なプログラムを展開し、幅広い層の観客で賑わったほか、「うむいの燈プロジェクト」と連携した復興ウォークの実施や県民割の活用促進により、入園・入場の向上にもつなげた。



琉球王朝絵巻行列



国王・王妃出御



首里城復興祈念ステージ



首里城復興特別見学ツアー

「夜首里城 YORU SHURIJO」

夜首里城

日にち：令和8年3月14日（土）～5月10日（日）〔全34日間〕　※毎週 金・土・日　祝日開催、GW期間（4月28日～5月10日まで）は毎日開催

場所：首里城公園城郭内

実施プログラム：①瑞泉門プロジェクションマッピング　②北城郭プロジェクションマッピング　③正殿プロジェクションマッピング
④首里森御嶽プロジェクションマッピング　⑤下之御庭　想いをつなぐメッセージ　⑥京の内前芝生エリアライトアップ　　等

閉園後の夜間を活用してイベントを実施し、復興への機運を高めるとともに新たな来園者の獲得を図り、持続可能な観光コンテンツの確立に取り組んだ。



瑞泉門プロジェクションマッピング



北城郭プロジェクションマッピング



正殿プロジェクションマッピング



首里森御嶽プロジェクションマッピング



下之御庭 想いを繋ぐメッセージ



京の内前芝生エリアライトアップ

首里城復興の情報発信1

一般財団法人
沖縄美ら島財団
Okinawa Churashima Foundation

SNSを活用した広報活動

首里城公園公式Facebook、Instagram、X（旧Twitter）、YouTubeの4つを運用し、復興の状況や公園イベントをSNSで情報発信している。



Facebook



Instagram



X（旧Twitter）



YouTube

首里城復興の情報発信2

１．県外プロモーション

（１）イオンモール全国巡回パネル展＆ワークショップ

公益財団法人イオンワンパーセントクラブが行う首里城復興支援活動の一環で、 全国のイオンモールで首里城復興支援展「正殿の端材を使ったワークショップ」を開催。首里城復興に関するパネル展示や動画上映と共に、当財団職員を派遣し、首里城復興をテーマにした正殿端材を活用したワークショップを行い、首里城復興への関心を高めた。



龍頭棟飾の原寸大パネル



正殿端材を活用したワークショップの様子



正殿端材を活用したワークショップの様子

（２） お城EXPO2025

12月20日（土）、21日（日）に神奈川県パシフィコ横浜ノースで開催された「お城EXPO2025」に、首里城公園ブースを出展した。復元工事の進捗や平成・令和の正殿の違いを紹介する展示に加え、VR体験や木組み体験、解説、物販など多角的な展開により来場者の高い関心を集めた。
特に木組み体験は理解促進に寄与し、物販では限定御城印が人気を博すなど、首里城の魅力発信につながった。
また、「沖縄グスク巡り御城印」の先行販売により他ブースへの周遊が生まれ、沖縄全体の城郭文化のPRに寄与した。







県の首里城復興に向けた取組状況

全体概要：首里城復興基本計画(R3.3)の基本施策



策定の趣旨

「首里城復興基本計画」は、基本方針で示した主な施策について、具体的に取り組む際の方向性等を体系的に定め、首里城復興を計画的に推進することを目的としている。

また、県民はじめ多くの人びと、企業・団体等及び行政・大学・関係機関等が、復興基本計画を共有することで、２０年、５０年先などの未来を見据え、連携・協働して、首里城に象徴される沖縄の歴史・文化の価値を確実に次世代へ継承し、それぞれの時代にふさわしい新たな文化創出など沖縄発展の礎として首里城復興に一体的かつ継続的に取り組んでいく。

基本施策	施策展開	主な担当部局
1. 正殿等の早期復元と復元過程の公開	(1)伝統技術を活用した施設整備 (2)木材、瓦等の調達に向けた取組 (3)復元過程の公開による観光資源としての活用	土木建築部
2. 火災の原因究明及び防火設備・施設管理体制の強化	(1)再発防止に向けた防火設備等の強化 (2)安全性の高い施設管理体制の構築	土木建築部
3. 首里城公園のさらなる魅力の向上	(1)国営・県営区域の一体的利用 (2)多様で柔軟な施設の活用	土木建築部
4. 文化財等の保全、復元、収集	(1)首里城跡の適正な保全と価値の周知 (2)文化財等の復元、修復及び収集	文化観光スポーツ部 教育庁
5. 伝統技術の活用と継承	(1)伝統的な建築技術の活用と継承 (2)美術工芸における伝統技術の継承	商工労働部 土木建築部 文化観光スポーツ部 教育庁
6. 「新・首里杜構想」による歴史まちづくりの推進	(1)歴史を体現できる風格ある都市空間の創出 (2)首里城公園及び周辺地域の段階的整備 (3)交通環境の整備	土木建築部
7. 歴史の継承と資産としての活用	(1)多様で魅力ある観光資源の活用 (2)平和を希求する「沖縄のこころ」の発信 (3)次世代を担う子どもたちへの継承	子ども生活福祉部 文化観光スポーツ部 商工労働部 教育庁
8. 琉球文化のルネサンス	(1)多様性・独自性を持つ琉球文化の再認識 (2)琉球文化の復興と新たな文化の創出 (3)国内外へ向けた琉球文化の発信 (4)琉球文化を活用した産業振興	文化観光スポーツ部 商工労働部 教育庁
復興基本計画の着実な推進	(1)関係機関との推進体制の構築 (2)国内外の学術ネットワークとの連携 (3)県民等の継続的な参加による復興 (4)効率的で効果的な復興の推進	土木建築部 関係各部等

首里城復元・復興に向けたスケジュール（県）

令和元年度（首里城焼失）	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度以降（R8正殿完成）

首里城復興基本計画（R3.3策定 対象期間R2～R13年度末）

首里城復興基金への寄付金受入
（城郭内焼失施設等の復元）

首里城未来基金※への寄付金受入
（人材育成、周辺施設整備）

※正式名称：首里城歴史文化継承基金

基本施策１

寄付金を活用した城郭内焼失施設等の復元（首里城復興基金事業）
（木材・赤瓦の調達、扁額・制作物の復元、復元に係る各種委員会運営 等）

復興イベント、情報発信、県民等参画の取組
（ナイトタイムコンテンツ、琉球文化発信、県民参画促進の取組、ＳＮＳ等情報発信 等）

基本施策２

火災再発防止検討
（再発防止検討委員会運営 等）

首里城公園管理体制構築検討
（首里城公園管理体制構築検討委員会運営、首里城公園管理体制構築計画策定 等）

基本施策３

首里城公園のさらなる魅力の向上、見せる復興の推進
（首里城公園全体の魅力向上、施設整備や利用導線、展示や案内機能の充実 等）

基本施策５

寄付金を活用した人材育成の推進
（首里城歴史文化継承基金事業）

基本施策６

新・首里杜構想に基づく首里城周辺の歴史まちづくり等の推進
（首里城復興基本計画で新・首里杜構想を策定、首里杜地区整備基本計画策定、首里杜まちづくり推進協議会運営 等）

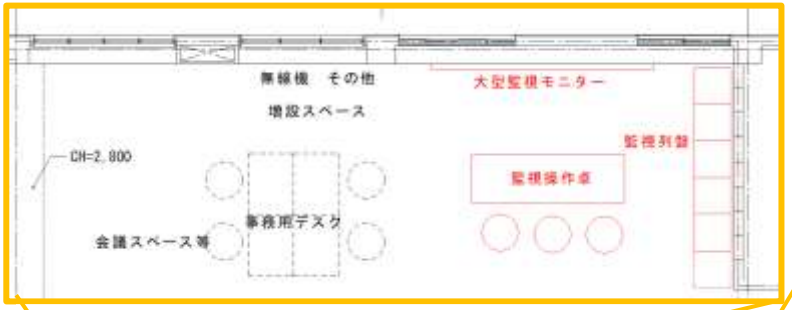
中城御殿跡地整備
（中城御殿跡地整備検討委員会運営、中城御殿整備基本計画改定、中城御殿・松崎馬場整備 等）

首里城公園の管理体制構築「防災センター機能の強化」

公園全体の防災対応力を高めるため、公園管理センターの増築・改修及びトレーニング環境の整備を行い、防災センター機能の強化と初動対応人材の育成環境の充実を図った。

正殿単体完成時（令和８年）

- 公園管理センターは防災センター機能を強化するため、建物の増築・改修を行い、既存棟には発災情報等を監視・収集する防災拠点スペースを設置した。これにより、防災センター間の情報共有を行うとともに、防災対策本部機能に対応する。
- 初動対応に係る人材育成に取り組むため、増築棟の会議室（トレーニング室）には、消防訓練等の検証結果を踏まえ、デモ訓練等に対応した設備を導入した。



防災拠点スペースの設置（既存棟改修）



防災拠点スペースの設置（既存棟改修）

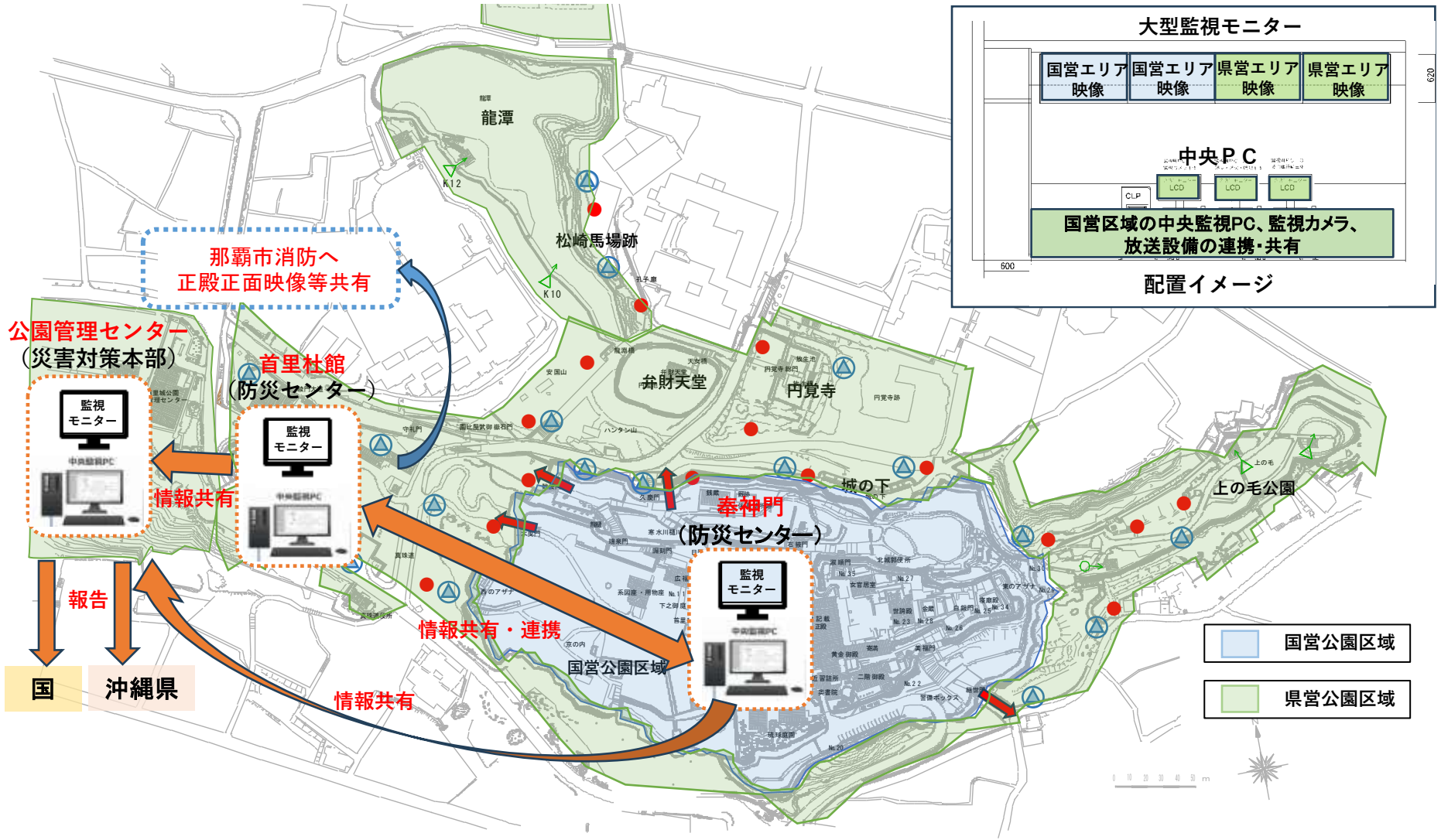


トレーニング用の設備を活用した訓練状況

首里城公園の管理体制構築「防災設備等整備の概要」

正殿単体完成時（令和8年）

- 中央監視設備の連携により、公園管理センター、奉神門、首里杜館とで同一の情報を共有した。
- 監視カメラ及び放送スピーカーを増設し、未然防止及び初動対応を強化。また、監視カメラ映像を那覇市消防局と共有し、初動対応の連携を強化した。



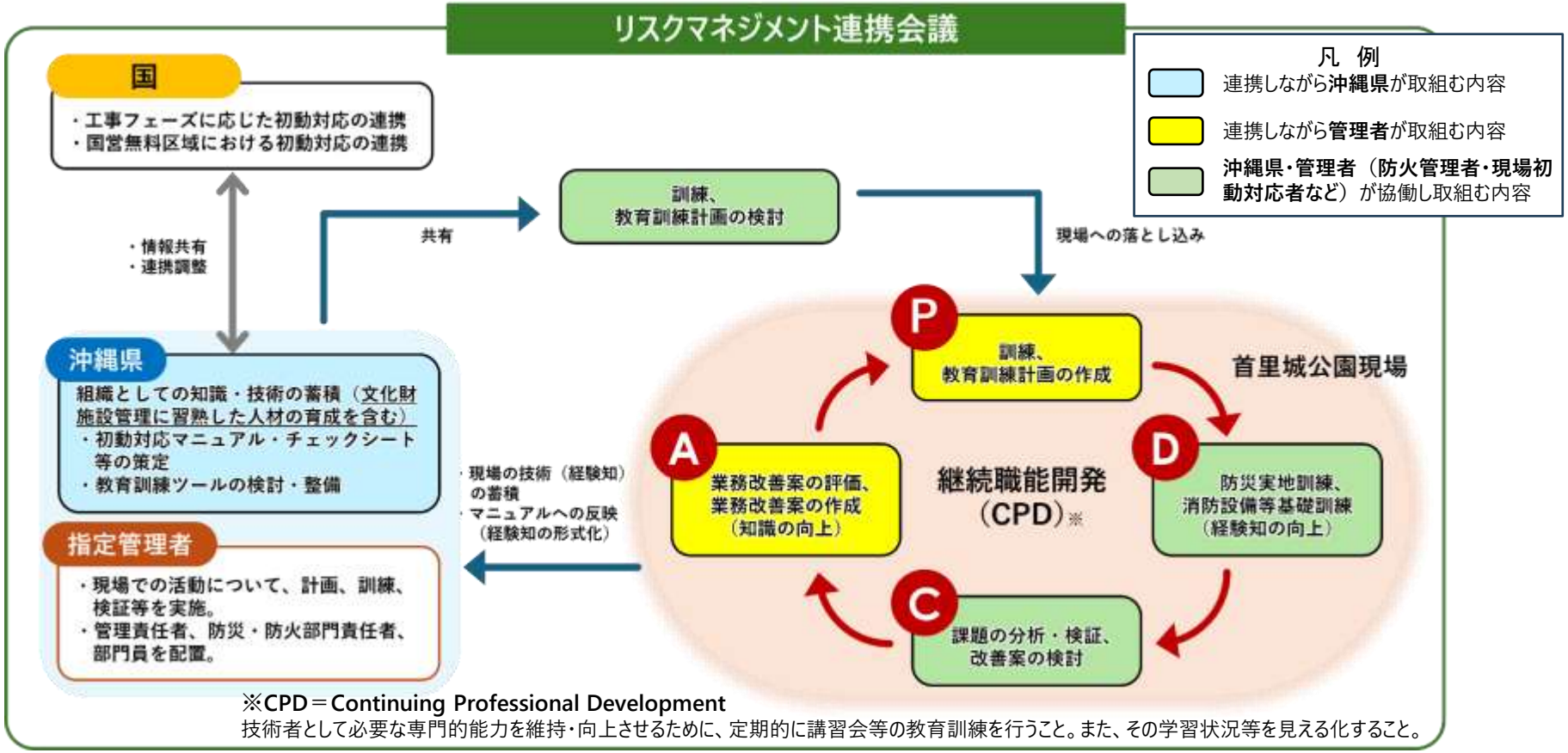
首里城公園の管理体制構築「県が主体的に関わる仕組み」

火災前（令和元年10月）

- 首里城公園での防災訓練は実施されていたが、指定管理者の主催であり、県や国は参加していない。訓練で発覚した課題等への解決に向けた計画的な人材育成の取組はしていなかった。

正殿単体完成時（令和８年）

- **首里城公園における防災や防火管理（リスクマネジメント）に係る体制を構築するため、沖縄県、公園事業者、国、関係者によるリスクマネジメント連携会議を定期的に開催。（毎月の消防訓練後の振り返り時に開催を想定）**
- **令和８年秋の正殿完成に向け、図上や実地訓練（昼間、夜間、イベント時）を行うための訓練計画を検討する。**
- **PDCAを回すことで、変化する防災業務に対応できる仕組みを構築する。**



※CPD＝Continuing Professional Development
技術者として必要な専門的能力を維持･向上させるために、定期的に講習会等の教育訓練を行うこと。また、その学習状況等を見える化すること。

首里城公園の管理体制構築「令和８年度以降（首里城正殿完成時）の管理体制」

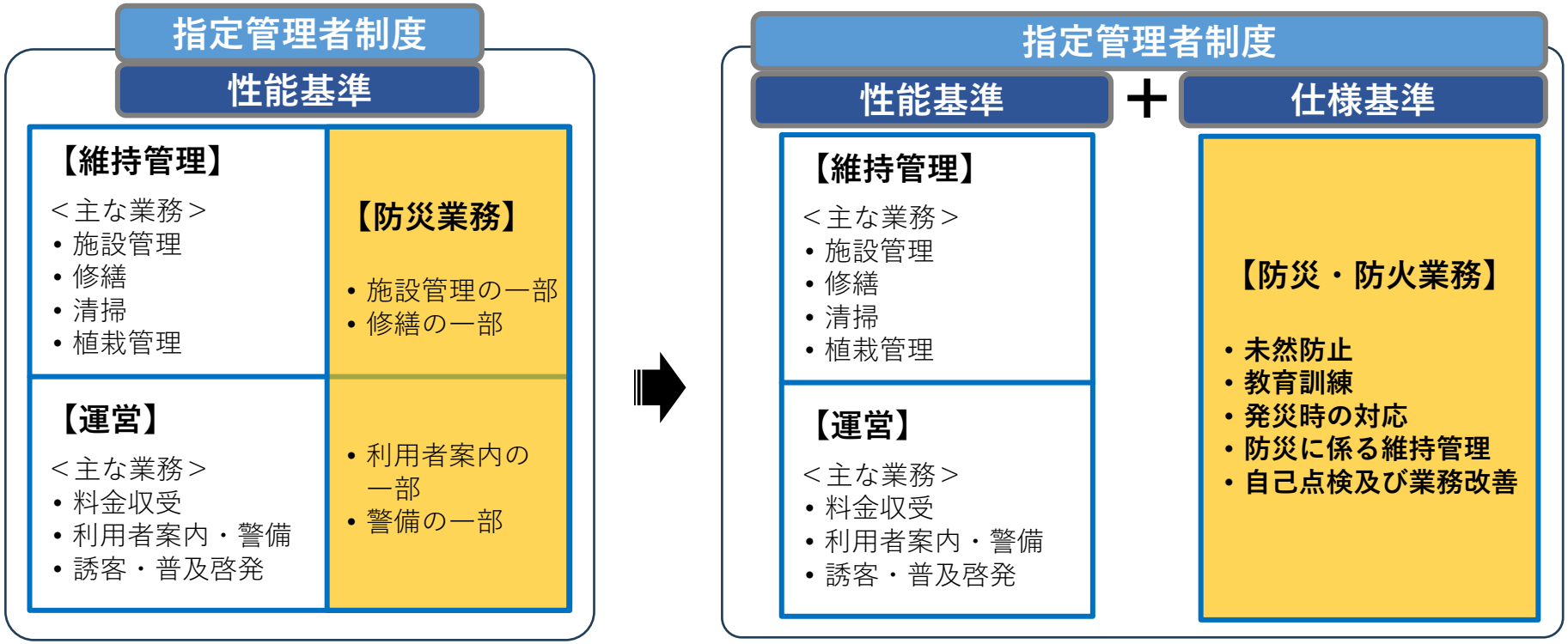
次期管理期間（令和８年４月）からは、現場での訓練等の実践を通して、技術の蓄積等によるレベルの維持・向上を適切な防火管理の実行体制の仕組みとして確立させるため、防災業務の仕様発注による契約方法に見直した。

火災前（令和元年10月）

- これまで防災業務については、一般的な指定管理業務の中で性能基準としており、防災業務は指定管理者の裁量に任されていた。
- 数年ごとに管理者が交代する可能性があり、人材確保や防災関連技術の蓄積が担保できない。

正殿単体完成時（令和８年）

- **今後は、指定管理者が交代することがあっても、レベルを落とさず防災・防火業務を遂行していくため、発災時の対応など個別具体的な仕様基準を定めた。**
- **防災業務を仕様発注にすることで、責任の所在を明確化した。**
- **指定管理業務の中で、維持管理・運営業務と防災業務を組み合わせて発注する。**
- **防災・防火業務を仕様基準とすることで、全体の収益により防災に関する業務内容に影響がない仕組みとする。**



首里城公園の管理体制構築「令和８年度以降（首里城正殿完成時）の管理体制」

首里城公園における防災・防火業務の適切な遂行確認を目的とする「首里城公園防災・防火評価委員会」を令和8年度より設置する。

正殿単体完成時（令和８年）

首里城公園防災・防火管理評価委員会

【委員会の構成】

- 委員は4名程度を想定。**防災・防火の専門家の他、協力機関（委員）として防災・防火に係る機関（消防等）にて構成。**

【委員会の主な役割】

- **防災・防火業務に係るモニタリングの評価**
- **防災・防火業務の自己点検を踏まえた県による防災仕様や運用マニュアルの見直しの確認**
- **新たなフェーズ（復元整備段階）に応じた課題の検討**
- **次々期指定管理に向け、防災業務の事業者間の引継ぎ事項・方法（十分な引継ぎ期間等）の検討（※本委員会からの提案事項）**

■評価のスキーム

① 県が防災・防火モニタリングを実施し、仕様に基づき業務を遂行しているか確認を行う。

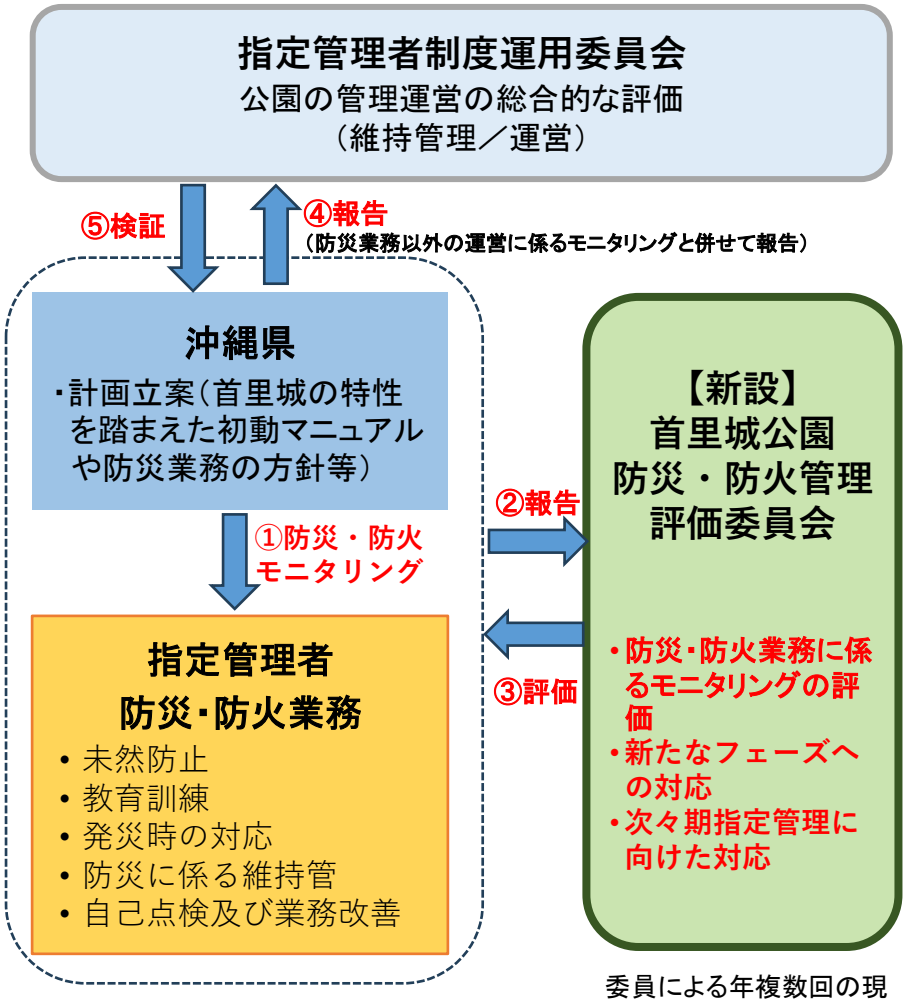
② 首里城公園防災・防火評価委員会へモニタリング結果を報告

③ 首里城公園防災・防火評価委員会から評価を受ける。

④ 防災業務以外の運営に係るモニタリング結果と併せて、指定管理者制度運用委員会に報告

⑤ 指定管理者制度運用委員会から防災業務を含めた総合的な意見を受ける。

評価確認のスキーム

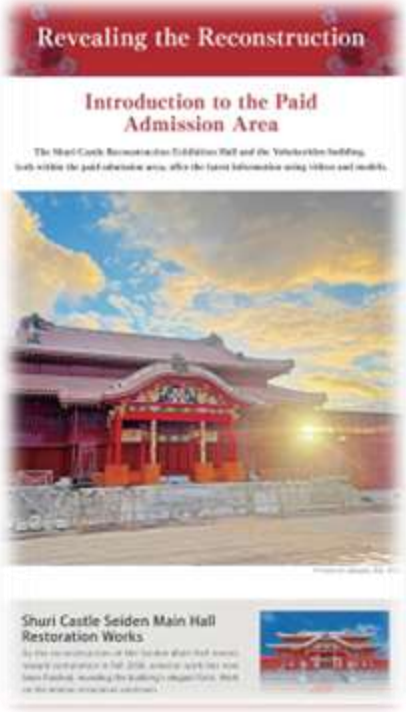


委員による年複数回の現地確認なども視野に入れる。

首里城公園のさらなる魅力の向上「見せる復興の取り組み」



復興展示室での試作品等の展示



多言語対応の動画コンテンツ



アニメーションを活用した動画コンテンツ



世誇殿での試作品等の展示



実物大鬼瓦（令和と平成の比較）の展示



壁面インタラクティブコンテンツ

首里城公園のライトアップ照明設置工事の概要①



琉球王国の栄華を誇る光景をつくる

夜間の安全性を確保するとともに、歴史の認識向上や周辺の商業、観光・リゾートを振興させ、地域の生活文化をより創造的なものへと育むことが求められます。本事業では、**首里城の風格を演出する**とともに、良好な夜間景観形成に向けて、照らすべき対象物の抽出とコンセプトの考え方を示し、実現に向けて具体的な照明計画を行います。首里城の城郭や外苑を彩る光により、首里城再建や古都首里のまちづくりにおける**先導的な景観形成の役割を担う、魅力ある夜間景観の創出**を目指します。

首里城外郭の歴史と特徴



貴重な遺産としての本質的な価値

（1）点在する城門
（2）城壁の石積み
（3）円覚寺・弁財天堂などの周辺文化財
（4）龍潭・円鑑池など首里城外苑
（5）歴史の道

景観照明の役割と２つの視点

<暮らす人々の視点>

まちのイメージの確立

- 個性
- 歴史的風土
- 文化的風土

<訪れる人々の視点>

まちとの出会い

- 季節や時間の変化
- 生活リズムの変化

首里城公園における景観照明の考え方

琉球王国の栄華を誇る景観

かつての琉球王国の栄華を印象づけて歴史や文化を県民や観光客に感じてもらう趣のある夜間景観を創出

来訪者への魅力ある光景

夜の観光拠点となる魅力ある光景を創出し昼間とは異なる二面性を演出することで首里城公園を核とするまちづくりに寄与する



首里城公園

古都首里を象徴する美しい城郭の景観を活かし歴史や文化的な風致の更なる魅力向上を図り美しい夜間景観を形成します

城郭石積みの曲線美

優美な曲線を描く琉球石灰岩の柔らかな表情を活かして、首里城の繊細で美しい光景を創出

安心・安全な夜の回遊動線

回遊動線は安全に散策ができる夜間景観を創出し、来園者の視線を誘導する分かりやすい足元照明を計画する

ビューポイントの創出　近景・中景・遠景


近景（城門などの重要な景観要素）
中景（歴史の道・園路動線からの眺め）
遠景（世持橋・周辺地域からの眺め）

重要な城門が点在し、優美な石積みが連続する琉球王国の歴史を直近に感じるビューポイント

歴史の道や誘導・散策動線を回遊しながら城郭の表情の変化が楽しめるビューポイント

龍潭の世持橋や周辺高台から首里城が見える象徴的なまち並みとして眺めるビューポイント



目指すべき光環境の３つのビジョン

首里城公園の歴史や特徴、ビューポイントを踏まえ、夜間景観形成における光環境の３つのビジョンを示します



① 琉球王国の栄華を誇る沖縄のシンボルとなる光景

② 城郭の構造的な美しさを魅せる光の陰影を活かす照明デザイン

③ 誰もが分かりやすい視線誘導の安心・安全のための光環境

首里城公園のライトアップ照明設置工事の概要②


守礼門①


守礼門②


久慶門周辺


歓会門周辺


木曳門前芝生広場


首里杜館前広場




園比屋武御嶽石門

首里城公園県営区域サイン整備について①

＜業務目的＞

首里城公園県営区域における案内サインについて、園内施設の整備に伴う来園者の移動動線の変化及び、近年増加している外国人来園者への対応を含め、公園利用者の利便性向上のための案内サインを整備するものである。

＜基本方針（サイン整備全体）＞

・維持管理を考慮し、環境に適した耐久性のある材料の活用を図る。

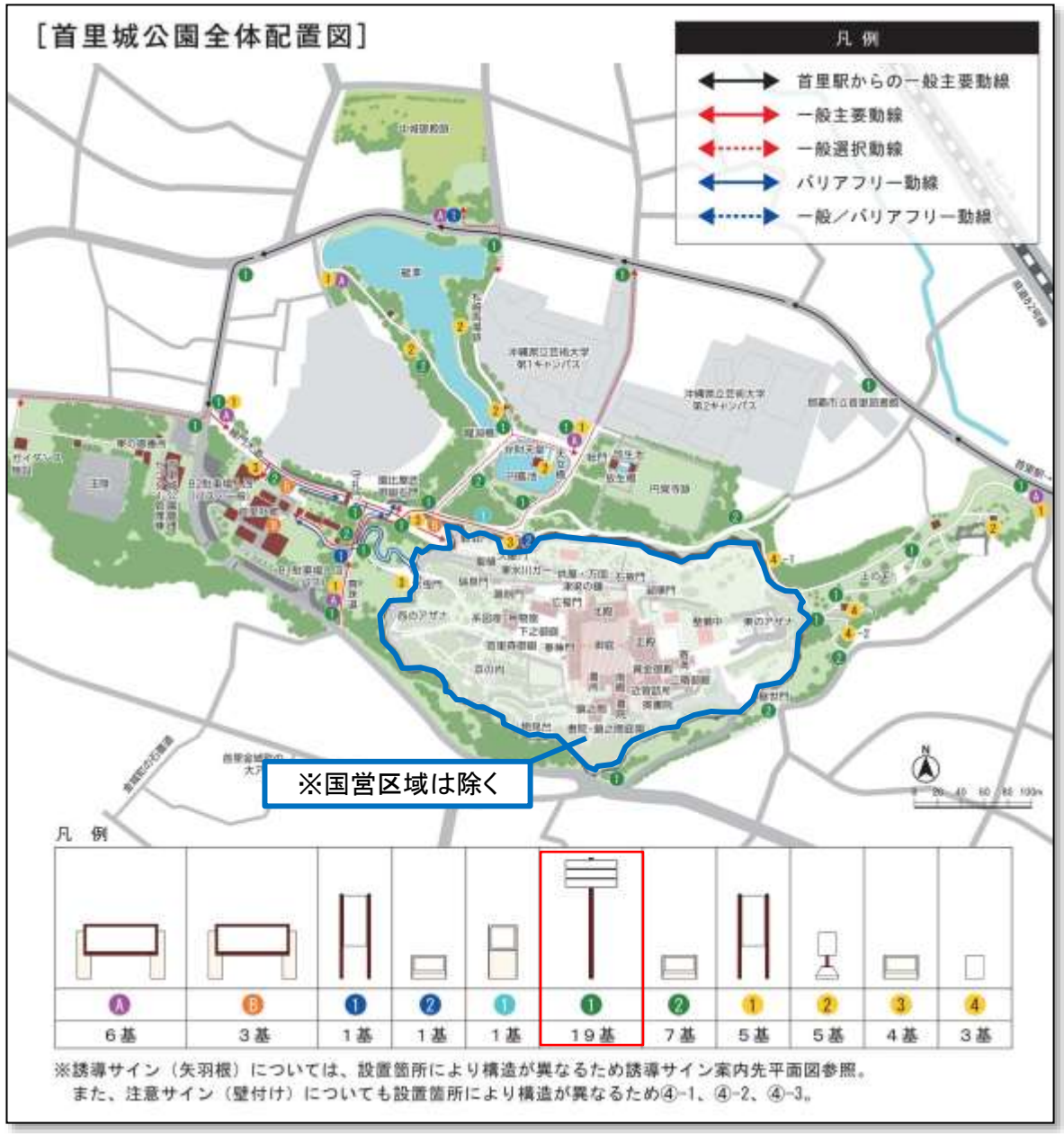
・利用者にとって見つけやすく、わかりやすい、視認性に配慮したサインの配置を検討する。

・デザインは、国営区域のサインマニュアルを基本とするが、公園内の周辺景観に配慮したデザインとなるよう工夫を図る。

・QRコードによる情報発信を取り入れるなど、情報過多による分かりづらさや読みづらさの改善を図る。

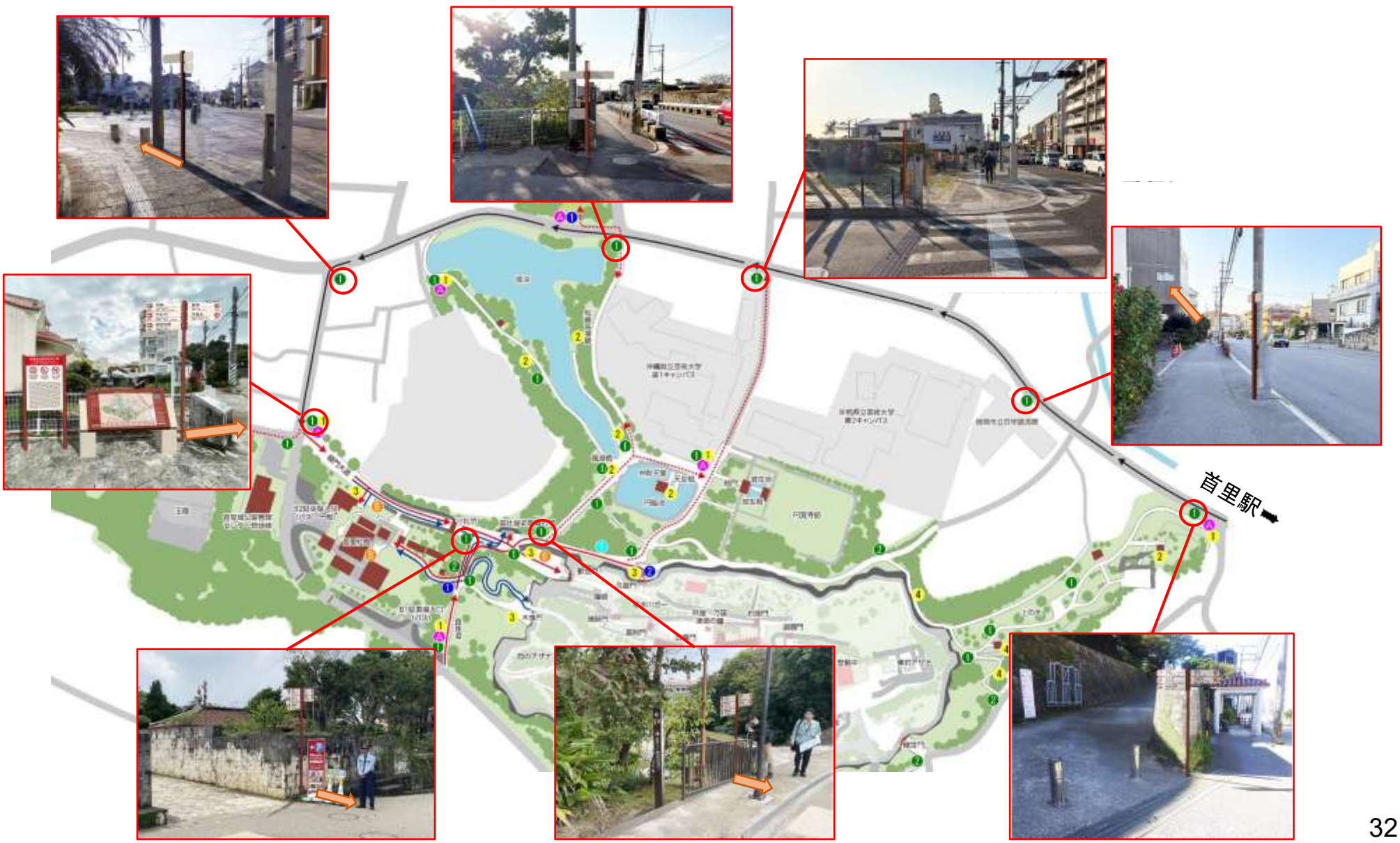
・ユニバーサルデザインへの対応を検討する。

・史跡指定等区域内への設置については、遺構等に配慮した設置方法（本体デザイン）を検討する。



首里城公園県営区域サイン整備について②

令和7年度は、首里駅からの観光客がスムーズに来園できるよう県道29号線沿い**5か所**及び公園内で迷いやすい**3か所**に、誘導サイン（矢羽根タイプ）の整備を行っている（〇）。



中城御殿跡地整備の概要

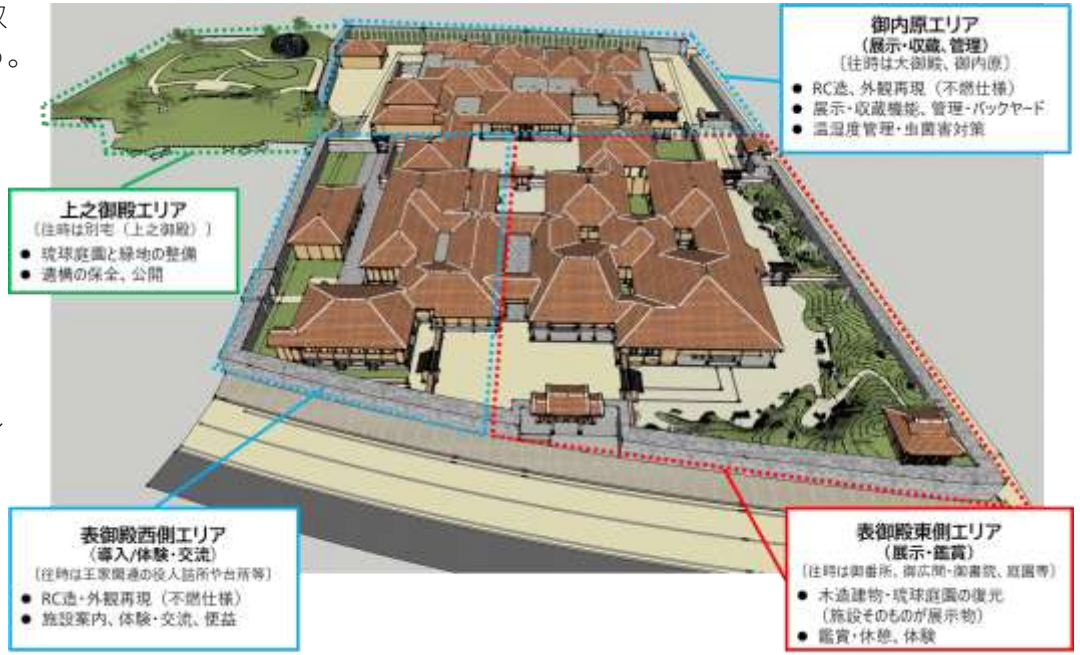
【施設概要】
　王国末期から戦前に至る王家ゆかりの屋敷で竣工間取図などの復元（再現）を可能とする根拠資料が存在する。

【事業実施場所】
　旧県立博物館跡地（首里城公園（県営区域）内）

【規模・総事業費】
　敷地面積　：　約11,330㎡
　延べ床面積：　約3,870㎡（RC造3,030㎡、木造840㎡）

【令和３年度整備基本計画改定の概要】
・首里城復興基本計画を踏まえ主に以下の項目を見直し
①展示収蔵計画の拡充見直し（美術工芸品の保存管理）
②施設全体の防災・防火対策の強化
③公園全体の一体利用、魅力向上に資する利用の拡充

中城御殿イメージパース



【中城御殿整備スケジュール（案）】

	項目	事業	令和３ 2021	令和４ 2022	令和５ 2023	令和６ 2024	令和７ 2025	令和８ 2026	令和９ 2027	令和10 2028	令和11 2029	令和12 2030	令和13 2031
城郭内	正殿復元	国営公園事業	実施設計	発注手続（WTO）		工事		正殿完成	※城郭内スケジュール　令和2年3月公表「首里城正殿等の復元等に向けた工程表」参照				
	松崎馬場など龍潭周辺整備	社会資本整備総合交付金事業（公園事業）	基本計画改定	松崎馬場など龍潭周辺整備 調整、設計		工事		◁令和８年 首里城正殿復元工事完成予定	公開（供用開始）				
中城御殿	【第１期工事】上之御殿（庭園・広場）	社会資本整備総合交付金事業（公園事業）		上之御殿 設計		工事			公開（供用開始）				
	【第２期工事】御内原 表御殿西側（RC造）	社会資本整備総合交付金事業（公園事業）		御内原・表御殿西側 設計 ※時期調整中		工事			公開（供用開始）				
	【第３期工事】表御殿東側（木造復元）	事業化に向け引き続き調整					表御殿東側 設計		木材調達、本体工事				

首里まちづくり研究会作成パース





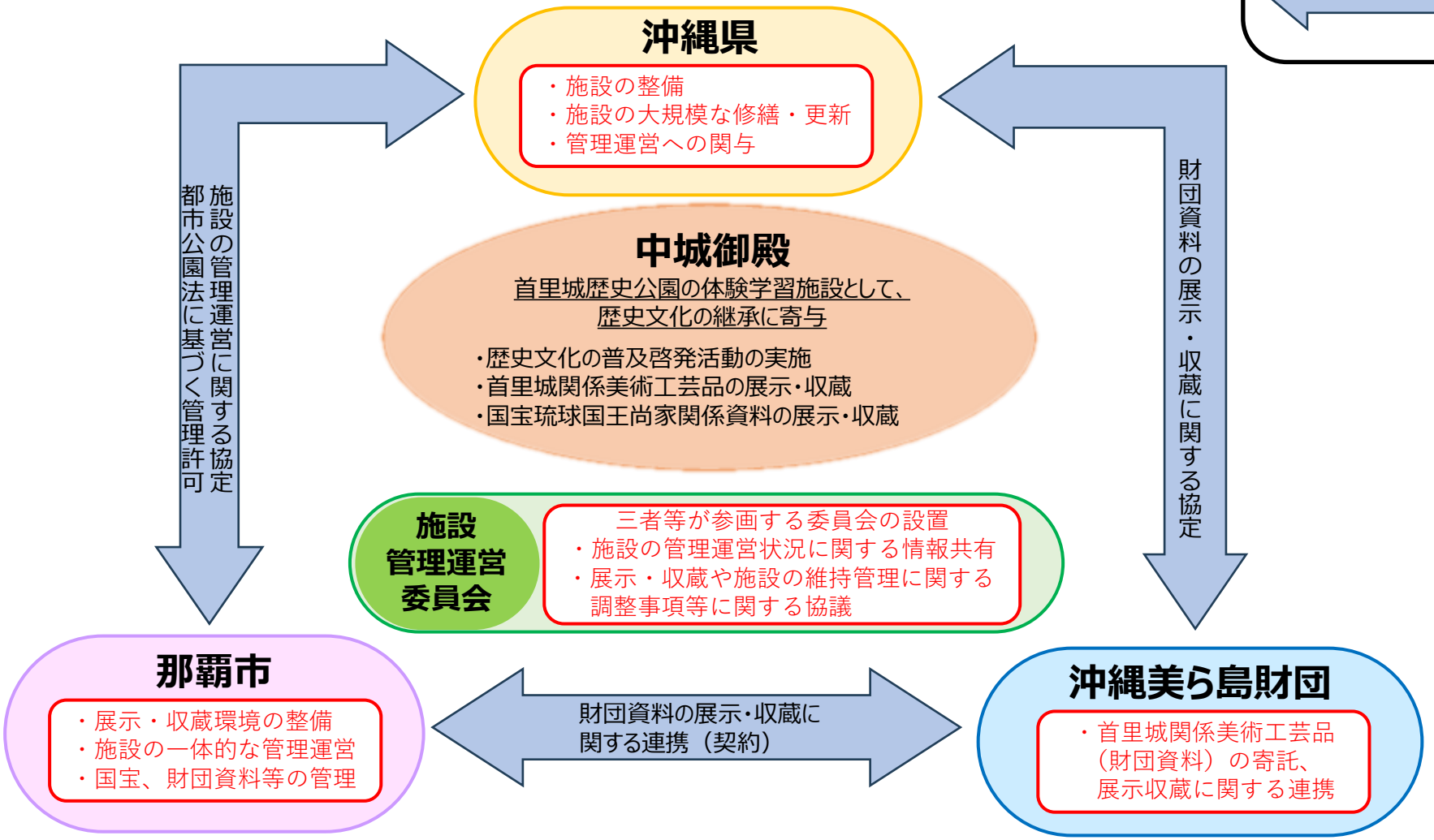
中城御殿跡地整備の概要（管理体制・役割分担）

- 今後は、沖縄県、那覇市、沖縄美ら島財団の三者で役割分担にかかる「覚書」を締結する。
- また、「覚書」を踏まえて、各主体間の協定等を締結する。
- 沖縄県が施設管理運営委員会を設置し、関係者間で管理運営の方向性を確認できる体制とする。

三者の役割分担にかかる覚書の締結

↓

各主体間の協定等



中城御殿上之御殿エリア（第二期工事 R6～）の整備方針

遺構写真①（上之御殿庭園遺構）



遺構写真②（上之御殿庭園遺構）



整備計画イメージパース



北側アプローチ
- 上之御殿エリアからの緊急時避難経路として、北側に階段を設ける。
- 階段及び擁壁の外観は、中城御殿の景観に馴染む仕上げを行うものとする。
- 発掘調査にて遺構が検出された場合は、検出遺構を基に計画を見直すものとする。

西側の段差
- エリア西側の石積み遺構等は保全する。
- 段差があった往時の地形（段差）を表現するため、新規石積を設置する。

園路・植栽

【園路】
- 来訪者が自由に空間を味わう広場とし、園路は整備しない方針とする。

【植栽】
- 遺構が確認されている旧階段や庭園周辺などのエリア（南側・東側）は抑制的な植栽とし、新たな擁壁や造成を行うエリア（西側・北側）は修景植栽や遮蔽植栽を検討する。

庭園遺構
- 上之御殿庭園は、将来の文化財指定の支障とならないよう、整備は最小限とする。

立岩（ガジュマルの拝所）周辺
- 整備の根拠となる資料が少ないため、今回は復元的整備は行わないものとし、外周に来園者の安全や遺構保護を目的とした進入禁止柵を設置する。

東側の石積
- 東側の残存石積は、修理し、活用する。
- 石積がない箇所は新たに石積擁壁を整備する。外観の仕上げについては景観に馴染むよう配慮する。
- 石積の高さは、古写真の分析等により推定する。

石階段
- 遺構を修理し、活用する。
- 広場の計画高にあわせるため、旧階段と同様な蹴上と踏み幅の階段を新たに２段設置する。

龍潭周辺整備（松崎馬場跡）の整備方針

松崎馬場跡の整備方針

- 首里城正殿及び中城御殿の整備工程を踏まえ、令和８年度までに松崎馬場の空間を整備する。
- 宿道上の遺構の保全、公開、活用等の方針は中長期的な視野で検討するため、遺構の真上を避けた位置に園路を整備する。

【園路整備の方針】

① 園路(宿道)は、令和8年度までの供用開始に向け暫定的なルートでの整備とする。

② 園路整備では、中城御殿と公園中心部を結ぶ来園者や管理車両等の通行機能を確保する。

③ 園路は、師範学校時代の石垣や芸大石積を迂回したルートとする。

④ 園路整備にあたっては、宿道(松崎馬場)の歴史的風致景観や世持橋からの景観に留意する。

⑤ 園路幅員は、試掘調査で検出された宿道遺構の舗装幅員の4.0mを基本とする。

⑥ 園路沿いで転落の恐れのある箇所については、安全対策を講ずるものとする。

⑦ 園路沿いの芸大境界側には築山・植栽帯を設け、芸大駐車場からの雨水等を受ける側溝を設ける。

【広場整備の方針】

① 利用者の休憩や歴史学習への活用を想定し、国学・首里聖廟石垣前と松崎(龍潭突出箇所)付近、園路中間付近に広場を配置する。

② 周辺施設の景観や遺構に留意するとともに、広場の機能を考慮した整備を行う。



松崎馬場植栽等計画図



写真：「首里龍潭ヨリ旧首里城並ニ師範学校ヲ望ム」
那覇市歴史博物館 提供



『中山傳信録』の「重陽宴図」（1719年冊封）
琉球大学



松崎馬場のイメージ
出典：NPO法人首里まちづくり研究会ホームページ

首里杜地区整備基本計画（令和４年４月策定）の概要

○目的

首里城復興基本計画の基本施策に位置付けられた「新・首里杜構想による歴史まちづくりの推進」を目的とし、首里杜地区の目指す姿や具体的な施策などをとりまとめた計画である。



○計画期間

・計画期間は、令和4年度から令和13年度までの10年間とする。
・正殿完成予定の令和8年度までを前期5年、以降を後期5年とする。

○計画の特徴

計画の各取り組みについては、具体的なロードマップを整理している。また、多様な主体が連携して効果的なまちづくりを行えるよう、テーマやエリアごとに関連する施策や事業をパッケージ化した点が特徴である。

○計画の推進体制

令和4年度に、有識者、行政関係、地域団体、関係事業者等で構成する「首里杜まちづくり推進協議会」を設置し、計画の進捗管理や改善を実施している。

○取り組みロードマップ（一部抜粋）

2026（令和8）年 首里城正殿完成予定

方針	中項目	小項目	取り組みNo	継続or新規	事業	事業主体	前期（5年） 2022年度 令和4年度	2023年度 令和5年度	2024年度 令和6年度	2025年度 令和7年度	2026年度 令和8年度	後期（5年） 2027~2031年度 令和9~13年度
(1)古都首里を感じられる空間の創出	①古都首里を感じられる良好な景観形成の推進	景観に配慮した良質な公共空間の創出	4	継続	無電柱化推進事業（県道49・50号線）	県(道路管理課)	調査(文化財)			設計		工事
			5	継続	公共事業における景観アセスメント	県(都市計画・モノレール課)	景観アセスメント対象事業の選定・実施					
	③共創の景観まちづくりの推進	地域人材の育成	11	継続	沖縄らしい風景づくりに係る人材育成	県(都市計画・モノレール課)	人材育成・シンポジウム等の計画・実施等					
(2)歴史文化資源等の保全・整備・活用	①幅広い歴史文化資源の再評価と保存・活用	推進に向けた調査・計画の策定	15	新	第32軍司令部壕保存・公開	県(女性力・平和推進課)	有識者委員会における検討					
	②拠点資源及び周辺の保全・復元・整備	歴史文化資源の保全・復元・整備	16	継続・新	中城御殿跡地整備	県(首里城復興課・都市公園課)	設計		工事			
			17	継続	円覚寺三門復元工事	県(文化財課)	工事					
			18	継続・新	龍潭周辺整備(松崎馬場、世持橋等)	県(首里城復興課・都市公園課)	調査・設計		工事等(順次実施)			
			20-1	新	指定文化財周辺の環境整備(南城郭、継世門等の修復保全)	県(文化財課)	調査・設計・工事等(順次実施)					
	③歴史文化資源の魅力向上・活用や新たな資源の創出	地域と協働による新たな文化資源の創出	21-1	新	地域資源の調査及び修景等	県(首里城復興課)	取り組み方針の検討	調査・設計		整備等(順次実施)		
		主要渋滞箇所の対策	22	継続・新	渋滞ボトルネック対策	県(道路街路課)	交通量調査、渋滞長調査、対策検討、対策実施(順次実施)、効果検証					

首里杜まちづくり推進協議会（令和４年9月設立）の活動概要

令和７年度テーマ活動状況





令和７年度の活動概要

①各主体が進める事業の内容確認／進捗確認

②部会におけるテーマ別活動の推進

③持続可能な観光ワーキンググループにおける検討

④首里杜地区のまちづくりや協議会に関する情報発信

・観光交通受け入れ環境整備を考える意見交換会

・首里杜まちづくり憲章（暫定版）の作成　等を実施

首里杜まちづくり憲章（暫定版）

首里杜まちづくり憲章（2026年3月版）

首里には、人々の暮らしがあります。
坂道を行き交う日々の営みの中で、
歴史や文化、祈りや思いやりは、静かに受け継がれてきました。
この地に湧く水は、人の暮らしを支え、
水場に生きる小さな命を育みながら、
首里の風景の一部として守られてきたものです。

私たちは、このまちで暮らす者として、
子どもから人生を重ねてきた人まで、
誰もが安心して暮らせることを大切にし、
先人の営みと今を生きる私たちの工夫を重ねながら、
このまちを未来へつないでいきたいと考えています。

首里を訪れる人々とも、互いに敬意を持ち、
暮らしや自然に配慮しながら、
首里の魅力を分かち合える関係を育んでいきたいと願います。
その思いを、ここに定めます。

誓

未来に向かって、私たちは

一、　暮らしの安心と安全を何よりも大切にします。

一、　歴史と文化、そして首里の風景を大切にします。

一、　水と水場、その周りに息づく生きものを大切にします。

一、　穏やかな日常と、ほどよい賑わいの調和を目指します。

このまちづくり憲章は、今後も議論を重ね、継続的にみんなで育てていくものです。
2026年3月吉日

テーマ活動成果（周遊）

A. 公共交通を使って店舗に来てもらうためには

飲むなら乗ろうよ(公共交通に)プロジェクト

➡首里＝"酒のまち" → 歩きメインのイメージをつける

◎自分たちで取組めそうなこと
- 最寄り駅からのルート情報を各店舗で情報発信
- 各店舗の"推し酒"を紹介／各店舗でしか飲めない酒を提供

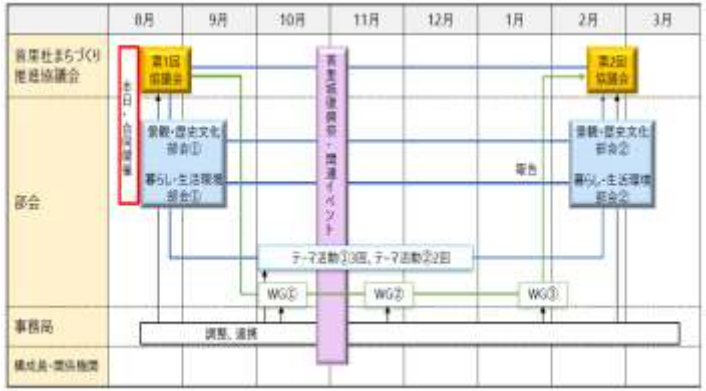
◎関係機関の協力があるとできそうなこと
- 警察にキャッチコピーをアピールしてもらう
- 首里城公園でお酒の歴史や、お酒が飲める店舗マップを展示

B.「首里を歩くためのマップ」の内容や運営方法

◎紙マップとデジタルマップの連携が有効的
- 紙マップ：高齢者や、すぐに情報が欲しい観光客向け。持ち運びやすいサイズにする。
- デジタルマップ：すいまーいランのマップを活用。最新かつディープな情報を発信。

◎紙マップとデジタルマップの更新サイクルをつくる
- デジタルマップの更新アカウントを各店舗に付与し、自分たちでこまめに最新情報に更新。
- デジタルマップの最新情報を定期的に紙マップに反映し、印刷。

➢　令和７年度スケジュール



➢ 協議会構成員一覧

構成員分類	構成員
(1)地域	地域住民・団体　など
(2)事業者	地域に所在する観光・商工・交通に関連する事業者、NPO、社団法人　など
	バス・タクシーなど公共交通関連事業、観光DXなどの関連テーマを推進する団体・事業者　など
(3)学術機関、専門家、団体	地区や取組に関連する学術機関や専門家グループなど
(4)行政	国、県、市
(5)その他必要	首里城公園管理者　など

「オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業」概要

● 主な現状、問題点

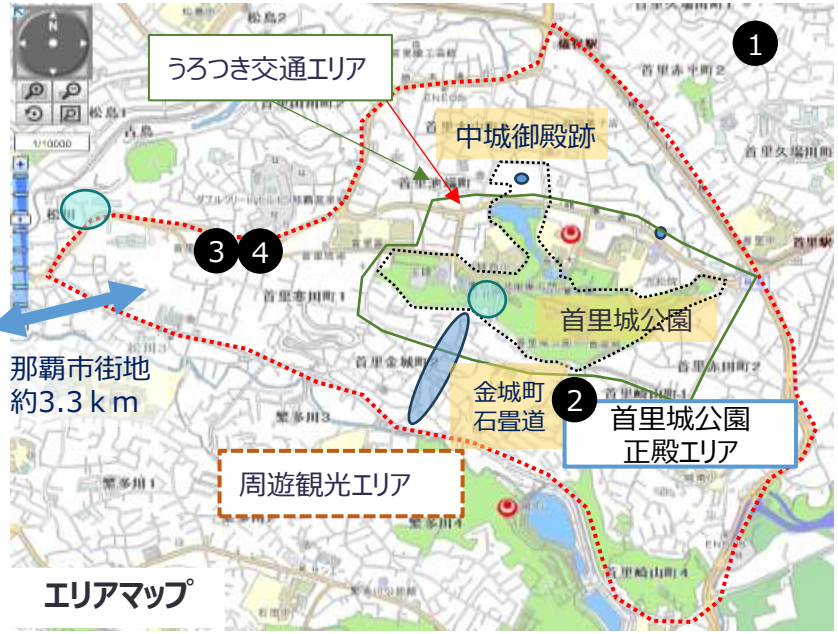
- 直行直帰型から周遊型観光への移行
- 首里城公園周辺道路の渋滞
- 施設の混雑

● 問題の背景、要因

- 特定時間（午前中）への集中
- 特定場所（首里城のみ）への集中
- 観光と市民の生活圏の重複

● 対策事業の考え方

- 正殿復元後の来園者の適切な管理対策として、時間制入場管理システム導入業務を実施する
- 首里城公園駐車場を利用する小型車の分散・平準化のための可視化と小型車予約システムの実証実験を実施する
- 周遊観光を促進するためのデジタルマップ導入を実施する



エリアマップ

需要の適切な管理

対策事業 ❶首里城公園における時間制チケットの導入事業

・首里城公園の来園は、午前中に集中する傾向があり、R8年秋完成予定の正殿の入場については入場制限を設ける為、時間制チケットを導入し、正殿への入場者の時間の分散を行う。

チケット写真



需要の分散・平準化

対策事業 ❷首里城公園駐車場満空情報の可視化システム導入事業

首里城公園ホームページで、先７日間の時間帯別（朝・昼・夕）の受入れ可否状況を発信し、旅前における首里城公園の混雑状況を把握できることで、 来訪間や公共交通機関の利用など移動手段の分散・平準化につなげる。

調査・分析

対策事業 ❸首里城公園駐車場小型車予約システムの導入を見据えた実証実験事業

・首里城公園駐車場において、12月～1月の15日間小型車予約システムを導入し実証実験事業を行った。今後の本格運用に向けた検討を進める。

地域住民と協働した観光振興

対策事業 ❹首里杜地区周遊ルート作成および周知事業

観光関係者・地域事業者を含む多くのステークホルダーと調整し、周遊ルートに関するデジタルマップの作成および周知を行った。

スポットについては、今後、地域事業者による最新情報への更新を行うことで、周遊促進による観光振興の一助となる。

デジタルマップ





県民等の復興への参画促進への取組（ナンバープレート普及促進）

県では、「地方版図柄入りナンバープレート」の制度を活用し、首里城復興への願いを込めて、「首里城」を取り入れたデザインの自動車ナンバープレートの普及促進を図っている。（令和5年10月から交付スタート） 令和7年12月末時点で約20,882枚の申込がある。

カラー版を選択した際の寄付金により、令和6年度に引き続き公益財団法人日本デザインナンバー財団から令和7年度首里城公園のイベント「首里の朝市」の助成が行われた。



カラー版



モノクロ版





令和7年11月16日　首里の朝市（首里城公園）



令和5年10月23日
首里城ナンバープレート
交付記念イベントを実施

県民等の復興への参画促進への取組（首里城復興「お出かけ講座」）

事業概要

首里城に象徴される琉球の歴史・文化を次世代へ継承するため、児童、生徒が復興を通して学ぶことのできる機会として出前講座と首里城正殿工事の際に生じた木材の端材を活用したモノづくりイベント（スマホスタンドスピーカー作成）を実施。

令和７年度は小・中・高校で計14回（首里城公園実施分と併せて全15回）実施

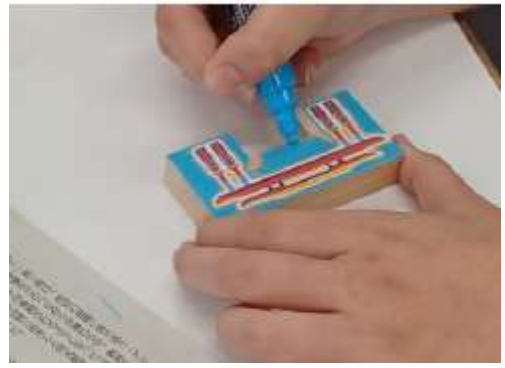
実施日・参加人数

場所	日付	出前講座 参加者	ワークショップ 参加者
中学校（南部）	10/7	90名	51名
高校（南部）	10/28	22名	22名
中学校（中部）	10/29	39名	39名
中学校（中部）	11/18	36名	36名
高校（北部）	11/25	17名	17名
高校（南部）	11/26	17名	17名
中学校（中部）	12/5	90名	–
高校（南部）	12/22	38名	38名
中学校（南部）	1/21	12名	12名
中学校（中部）	1/23	30名	30名
小・中学校（離島）	2/2	62名	39名
小学校（離島）	2/6	20名	20名
高校（南部）	2/10	395名	–
中学校（南部）	2/13	261名	108名
首里城公園	2/15	33名	33名
	計	1,162名	462名

首里城復興「お出かけ講座」の様子



学校での実施



ワークショップ（スマホスタンドスピーカー作成）



首里城公園での実施

令和７年度　県民等の復興への参画促進の取組（シンポジウム開催）



県、琉球大学、県立芸術大学の三者共催により、行政、芸術、人材育成、学術の面から首里城復興と沖縄の歴史文化復興に関するシンポジウムを開催。

【日時】 令和7年10月12日(日)

【会場】 沖縄県立博物館・美術館



基調講演



ポスターセッション

令和７年度　首里城復興イベント概要

首里城への来訪を推進し、その着実な復興の状況を共有することを目的に、首里城の復元及び象徴される琉球の歴史・文化を「観て」「学んで」「楽しむ」機会を創出し、その魅力の再認識に繋がるイベントを開催。

【日程】 昼の部：令和7年12月6日(土)・12月7(日) ・12月13日(土)・12月14日(日) ・12月20日(土)・12月21日(日)
　　夜の部：令和7年12月12日(金)-12月15日(月) ・12月19日(金)-12月22日(月)
【会場】 首里城公園



昼の部：首里城復興ツアー＆ものづくり体験







夜の部：首里城ファンタジアナイト






首里城復興に係る寄附金の状況

首里城復興に係る寄附金の状況

沖縄県に寄せられた寄附金額（令和８年３月末）

6,177,859,515円

（内訳）
令和元年11月～令和4年3月　5,541,420,099円
（首里城復興基金／首里城火災復旧・復興支援寄附金）
令和4年4月～令和８年3月末　636,439,416円
（首里城未来基金／首里城歴史文化継承寄附金）

焼失した首里城復元への活用を目的とした「首里城火災復旧・復興支援寄附金」は、令和4年度の正殿工事復元着工を節目とし、令和4年3月末で受付を終了しました。これまでの皆さまの温かいご支援、ご協力を心より感謝申し上げます。お寄せ頂いた寄附金は、「首里城復興基金の活用に関する方針」に基づき、焼失した城郭内施設等の復元に引き続き活用させて頂きます。活用状況は、マスコミ公開や県ホームページ等を通してご報告致します。

今後、県としては首里城に係る伝統的な建築等技術に係る人材育成、周辺の歴史まちづくり推進等、引き続き首里城復興に取り組んでまいります。これら施策の推進にあたり、令和4年4月以降は、新たに「首里城未来基金」を創設しました。首里城への思いを持つ皆様との連携・協働の一環として、引き続きご寄付を募集し、県事業と一体的に取り組んでいきたいと考えています。今後とも首里城復興へのご支援・ご協力を何卒よろしくお願い致します。

首里城復興基金(寄附金)活用の取組（国との協議）状況

沖縄県首里城復興基金への寄附金は、令和３年度末時点で約５５億円が寄せられており、正殿の木材、瓦、屋外彫刻、室内装飾等に活用することが決定している。

沖縄県首里城復興基金の活用に関する方針 第１・第２より

基金は、一日も早い首里城火災からの復興を願う国外を含めた県内外からの寄附金によって積み立てられていることから、県民はもとより県内外の人びとの想いを尊重し、焼失した首里城の**城郭内の施設等の復元**に活用する。

首里城正殿の復元まで（第１フェーズ）

活用に関する方針 第２より

令和６年３月時点

※寄附金 総額 約５５．４億円

（１）正殿の木材調達に関する事業

○大径材(柱・梁・桁などの軸組に使用)の一部
→令和２年９月 国と覚書締結　令和３年７月に国と調達範囲を協議済・調達開始

○大径材を除く造作材(壁、天井、床などに使用)のうち県産材・化粧材
→令和３年７月 国と覚書締結　令和５年１月に国と調達範囲を協議済・調達開始

（２）正殿の赤瓦調達に関する事業

→令和２年12月 国と覚書締結　令和５年９月に国と調達範囲を協議済・作業開始

（３）大龍柱等の石彫刻、唐破風妻飾等の木彫刻及び龍頭棟飾等の焼物など、屋外彫刻の復元に関する事業

○石彫刻(大龍柱等)・木彫刻(唐破風妻飾等)
→令和３年７月 国と覚書締結　令和５年１月に国と調達範囲を協議済・作業開始

○焼物(龍頭棟飾等)
→令和３年７月 国と覚書締結　令和５年１月に国と調達範囲を協議済・作業開始

（４）扁額などの室内装飾の復元に関する事業

○扁額　→令和３年３月 国と設置同意　令和３年度 事業開始　令和４年度 試作開始

○扁額以外→令和３年７月 国と覚書締結　令和５年１月に国と協議済・作業開始

正殿復元後（第２フェーズ）

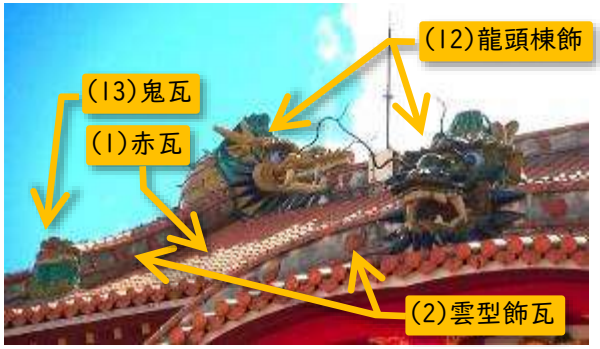
（５）～中略～北殿及び南殿等の復元に関する事業

首里城復興基金(寄附金)の正殿における活用箇所

部位		種類	名称	搬入	
木材	-	大径材	柱材(国産ヒノキ) 向拝柱材(イヌマキ) 小屋丸太梁材(県産)	R3-4	
	-	大径材以外	角材(化粧材・県産材) 板材(壁・天井・床等)	R5-6	監修会議 各分野↓
赤瓦	(1)	赤瓦	瓦[正殿 約60,000枚] [金型・機材・環境整備]	R6	【瓦類WG】
	(2)	瓦類	雲型飾瓦[約280個] (くもがたかざりがわら)	R6	
屋外彫刻	(4)	石彫刻	大龍柱/台石	R8	【彫刻WG】
	(5)	〃	小龍柱	R7	
	(6)	〃	石高欄/持送石 (いしこうらん)	R7	
	(7)	〃	礎石[105個] 礎盤[4箇所×3段]	R5	
	-	〃	石階段	R7	
	(8)	木彫刻	懸魚(げぎょ)	R6	
	(9)	〃	唐破風妻飾 (からはふつまかざり)	R6	
	(10)	〃	向拝 透欄間 (こうはい すかしらんま)	R6	
	(11)	〃	向拝 奥の彫刻物 (こうはい)	R6	
	(12)	焼物	龍頭棟飾[3個+胴体] (りゅうとうむなかざり)	R6	【焼物WG】
	(13)	〃	鬼瓦[4個] (おにがわら)	R6	
	(14)	瓦類	磚[約1,500枚] (せん)	R7-8	【瓦類WG】
室内装飾	(3)	漆芸	扁額[3点](へんがく) [共同作業場]	R8-	首里城扁額製作検討委員会
	(15)	垂飾	1階 御差床垂飾(瓔珞) (うさすかたれかざり)	R8	【染織WG】
	(16)	造作・彩色	1階・2階 台御差床 (だいうさすか)	R7	【彫刻WG】
	(17)	造作・彩色	2階 御差床 (うさすか)	R6	

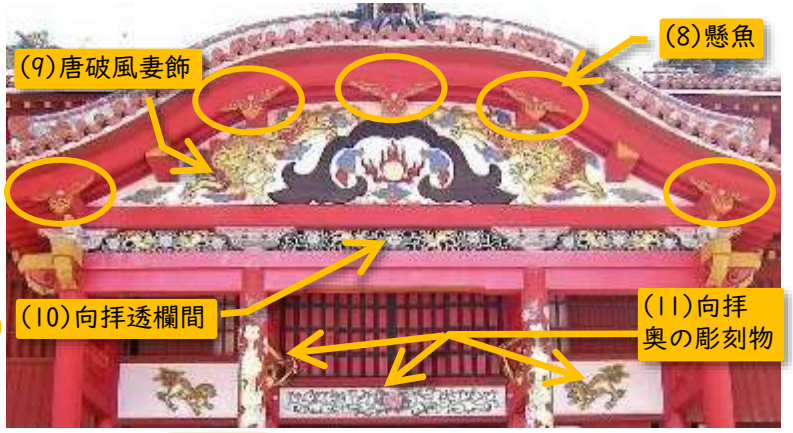
【首里城復興基金事業の対象選定の考え方】

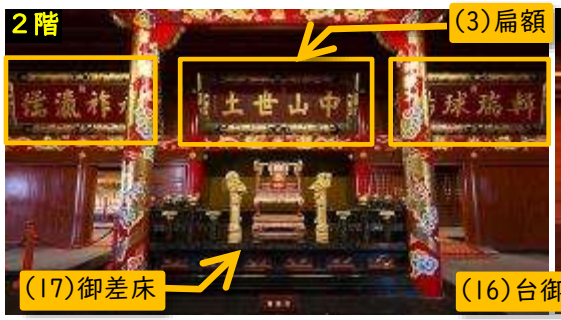
- 寄附者(来訪者)の目につきやすい「象徴部」
- 県内に畜積・継承されている伝統技術の活用に資するよう、県産材または県内職人が関わる箇所













県で製作し首里城内で国へ引渡し(彩色や設置等の現場作業を含まない)

首里城復興基金による扁額の進捗状況【首里城扁額製作検討委員会】

(1) 扁額「中山世土」 本製作の状況

・扁額「中山世土」については、令和５年12月に本製作に着手。額縁彫刻部の螺鈿・加飾作業期間を見直し、令和８年６月頃の完成を予定している。

・令和８年３月現在、額縁彫刻部の螺鈿・加飾作業を進めている。

(2) 扁額「輯瑞球陽」「永祚瀛壖」の検討・製作状況

・２、３枚目の扁額「輯瑞球陽」「永祚瀛壖」の仕様は、「中山世土」の仕様を基本としつつ、詳細を検討している。

・また、県内技術継承を見据え、沖縄県立芸術大学の所属技術者が製作に参加している。

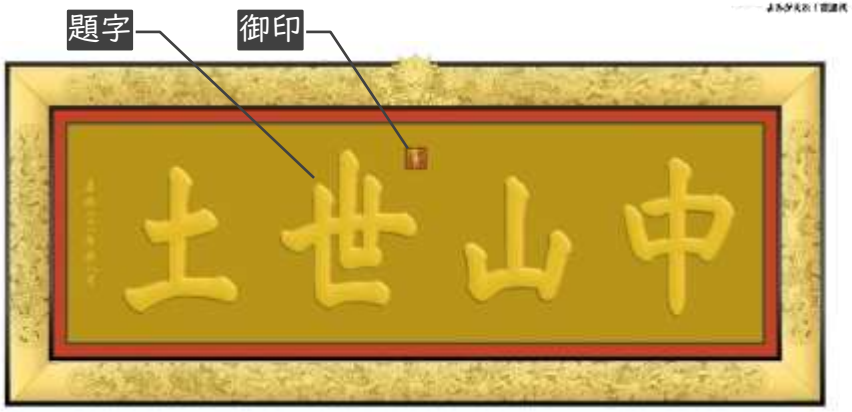
・２枚目「輯瑞球陽」は題字彫刻が完了し、額縁彫刻に着手したほか、各部材の螺鈿作業を進めている。



扁額「輯瑞球陽」題字彫刻 本製作状況

扁額本製作スケジュール

	令和６年度				令和７年度				令和８年度				令和９年度
中山世土									完成	設置			
輯瑞球陽													
永祚瀛壖													



扁額「中山世土」完成イメージ



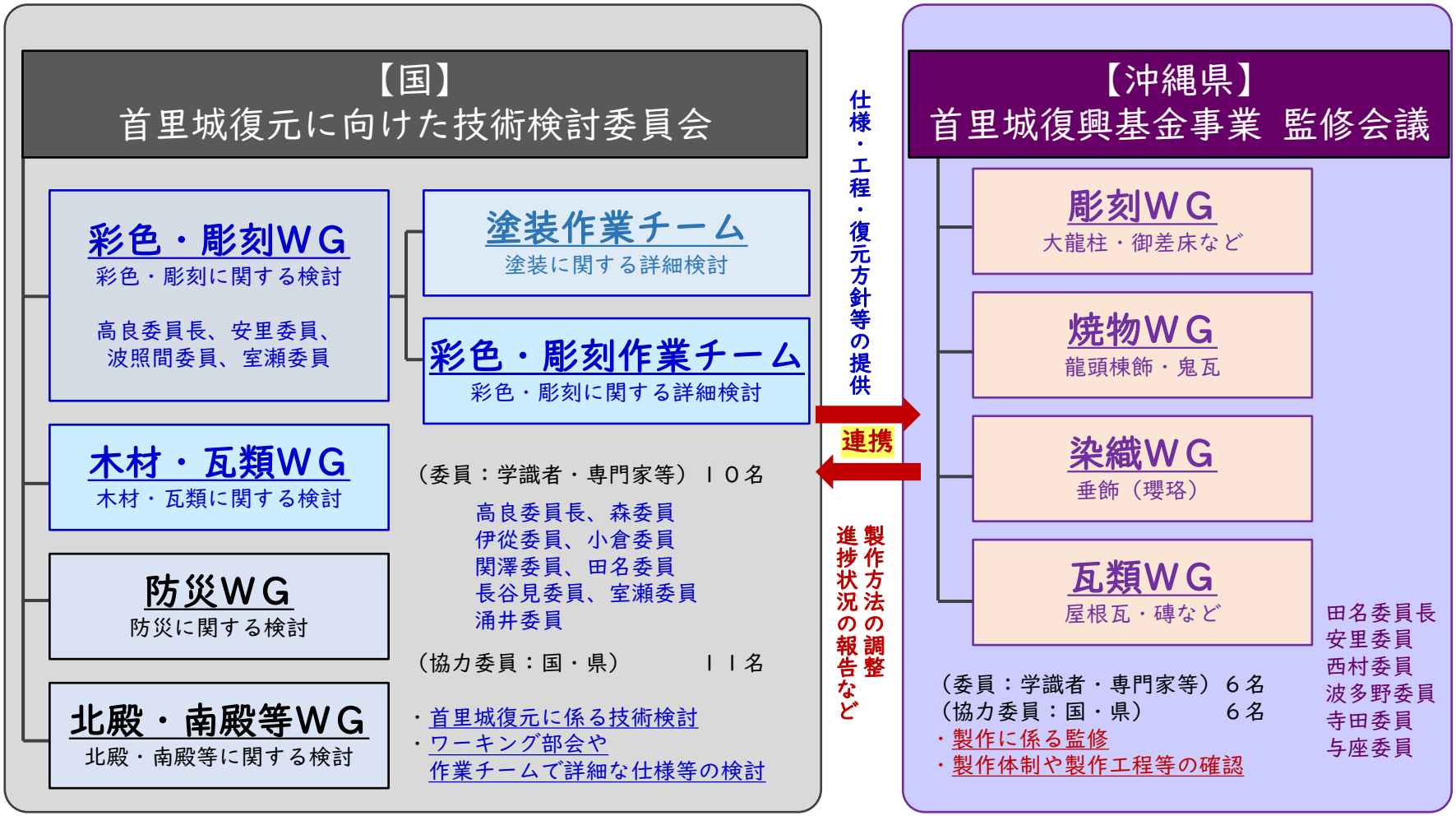
扁額「中山世土」額縁彫刻部 本製作状況



扁額「輯瑞球陽」地板 本製作状況

首里城復興基金事業 監修会議

＜目的＞　首里城火災からの復興を願う寄附金によって積み立てられた首里城復興基金を活用し首里城正殿の復元工程に合わせ、国から提供された仕様をもとに円滑に製作できるよう、首里城復興基金事業 監修会議（以下「監修会議」という。）を設置する。



県の会議と関係する会議

＜任期＞　２年更新（再任を妨げない）

監修会議とワーキング部会の構成と役割

- 監修会議では、学識有識者６人のほか、関係機関を協力委員として配置。【設置要綱 第3条】
- 監修会議は、製作及び監修方針をとりまとめる場であり、各分野の監修に係る詳細事項については、ワーキング部会（以下「ＷＧ部会」という。）にて検討する。【設置要綱 第2条及び第6条】
- 各分野のＷＧ部会には、技術継承を図るため、若手を１名程度含める。

首里城復興基金事業 監修会議
【年２回程度開催】

製作及び監修方針をとりまとめる場
(1)製作体制及び製作作業工程に関すること。
(2)監修方法及び監修頻度に関すること。

委員	歴史(琉球史)	田名　真之	前沖縄県立博物館・美術館 館長（委員長）
	歴史(漆工史)	安里　進	沖縄県立芸術大学 名誉教授
	彫刻・焼物	西村　貞雄	琉球大学 名誉教授
	彫刻・焼物	波多野　泉	沖縄県立芸術大学 学長
	染　織	寺田　貴子	活水女子大学 特別専任教授
	瓦　類	与座　範弘	元　沖縄県工業技術センター　所長

※協力委員６人（県・国の関係部局より）

各分野のＷＧ部会

彫刻ＷＧ部会
大龍柱・御差床など

西村　貞雄
波多野　泉
砂川　泰彦★

歴史系委員１名以上
製作技術者の代表

焼物ＷＧ部会
龍頭棟飾・鬼瓦

西村　貞雄
波多野　泉
森　達也★
山田　聡★

歴史系委員１名以上
製作技術者の代表

染織ＷＧ部会
垂飾（瓔珞）

寺田　貴子
早瀬　千明★

歴史系委員１名以上
製作技術者の代表

瓦類ＷＧ部会
屋根瓦・磚など

与座　範弘
花城　可英★

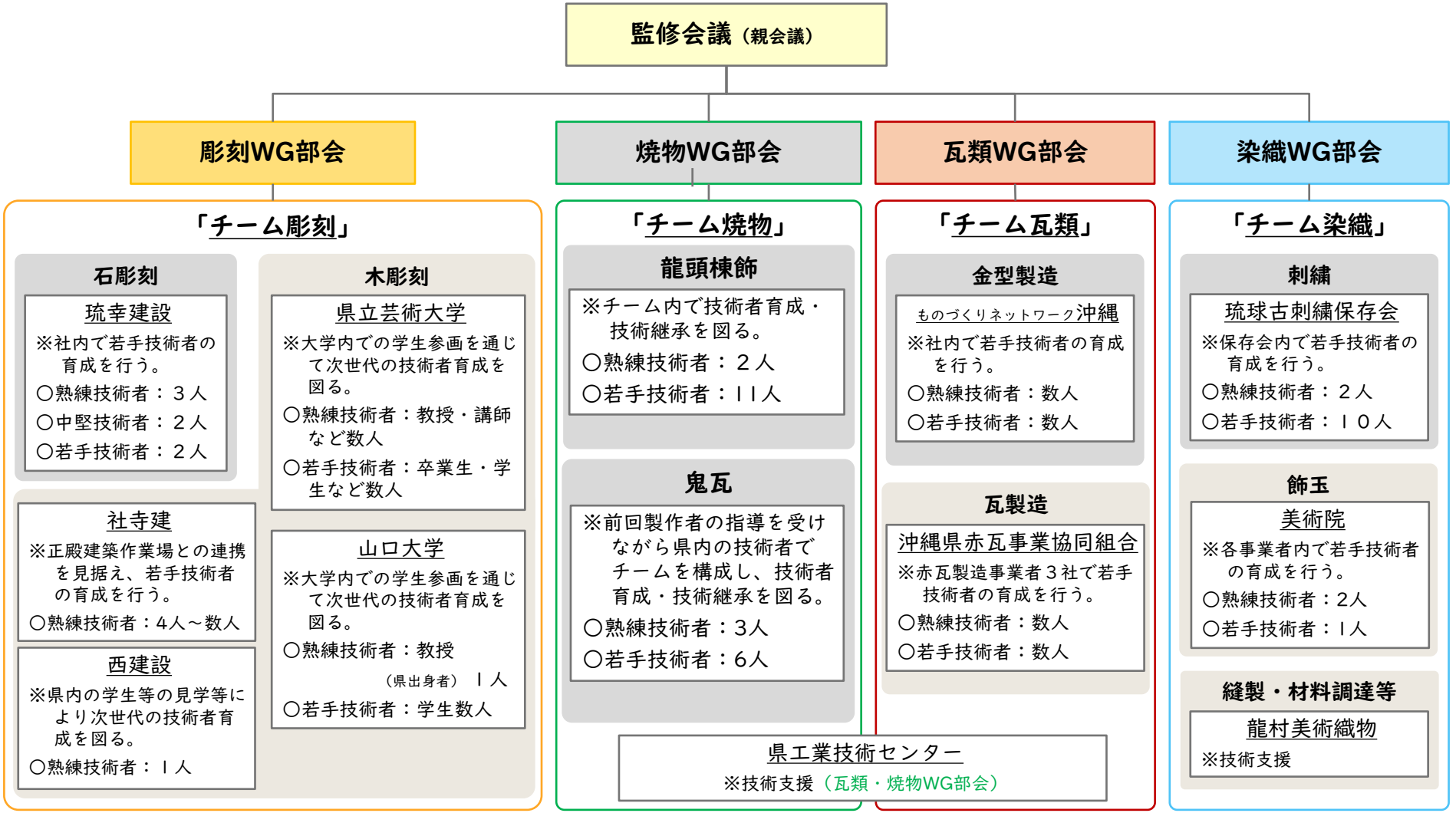
歴史系委員１名以上
製作技術者の代表

【年２回程度＋適宜開催】
製作や監修方法等の詳細検討
分野別の専門家（２～３人）、歴史系委員１人以上、製作技術者の代表で構成

※ＷＧ部会のみ参加の学識者は★

今回復元における製作体制について（R7.3時点）

- 前述までの方針を踏まえ、今回復元の製作体制について、各WG部会での検討は以下のとおり。
- 製作体制への参加が限られるため、技術継承の裾野を広げるためにも、製作記録の活用を含めて、情報発信等については別途検討する。



【彫刻ＷＧ部会】石彫刻の進捗状況

- 石彫刻及び石工事の進捗状況は、下表のとおりである。

番号	製作物名称	国への引渡期限	新たな知見	状況
1	礎盤（向拝の柱の礎盤、礎石含む）	令和5年9月頃	なし（前回踏襲）	国へ引渡し済
2	礎石（外周柱用/内側柱用/東柱用）	令和5年７月頃	なし（前回踏襲）	国へ引渡し済
2-2	礎石（西之廊下用/南之廊下用）	令和7年11月頃※	なし（前回踏襲）	国へ引渡し済
3	大龍柱	令和8年6月頃 ※	ねじれの表現など	製作中
4	大龍柱の台石	令和7年12月頃 ※	なし（前回踏襲）	国へ引渡し済
5	小龍柱	令和8年3月頃 ※	腹板の数、 ねじれの表現 など	国へ引渡し済
6	石高欄及び登高欄 親柱上の獅子	令和8年4月頃 ※	獅子の顔及び体の向き、 獅子の造形 など	国へ段階的に引渡し中
7	石高欄（親柱/束石/地覆石/羽目石/笠石）	令和8年4月頃 ※	なし（前回踏襲）	国へ段階的に引渡し中
8	持送石	令和7年11月頃 ※	なし（前回踏襲）	国へ引渡し済
9	地覆石	令和5年７月頃	なし（前回踏襲）	国へ引渡し済
9-2	地覆石（西之廊下用/南之廊下用）	令和７年11月頃 ※	なし（前回踏襲）	国へ引渡し済
10	石階段（正面階段1、階段2,3,5,6,7,8）	令和8年1月頃随時 ※	なし（前回踏襲）	国へ段階的に引渡し中
10-1	雨落側溝	令和8年1月頃 ※	なし（前回踏襲）	国へ段階的に引渡し中


大龍柱 詳細彫り(吽形)
（2025.12/25撮影）


大龍柱 詳細彫り(阿形)
（2025.12/25撮影）


小龍柱瞳孔位置墨入れ
（2026.1/28撮影）


親柱上の獅子
（2025.12/25撮影）

【彫刻ＷＧ部会】木彫刻の進捗状況

- 木彫刻及び造作の進捗は、下表のとおり、すべて引渡し済みである。

番号	製作物名称	国への引渡期限	新たな知見	状況
11	唐破風 妻飾（火焔宝珠、蟇股、金龍、瑞雲）	令和7年1月頃	龍の脚の火焔の形や蟇股の木取り・彫り方	国へ引渡し済
12	唐破風 懸魚	令和6年6月頃	なし（前回踏襲）	国へ引渡し済
13	入母屋破風 懸魚	令和6年6月頃	なし（前回踏襲）	国へ引渡し済
14	向拝 透欄間（牡丹唐草、獅子）	令和6年11月頃	なし（前回踏襲）	国へ引渡し済
15	向拝奥の彫刻物（牡丹に獅子・唐草）	令和7年1月頃	意匠に獅子も含まれていた等	国へ引渡し済
16	向拝奥の彫刻物（金龍）	令和7年1月頃	なし（前回踏襲）	国へ引渡し済
17	向拝奥の彫刻物（獅子）	令和7年1月頃	獅子の大きさ・姿勢	国へ引渡し済
24	2階 御差床 須弥壇（高欄含む）	令和6年10月頃	親柱・しまこ柱の形状	国へ引渡し済
25	2階 御差床 龍柱	令和6年9月頃	胴体（腹板）のねじれ等	国へ引渡し済
26	2階 御差床 羽目板	令和6年7月頃	栗鼠の姿勢（漆器事例）、図案配置	国へ引渡し済
27	2階 天井額木	令和5年8月頃	火焔宝珠の形態	国へ引渡し済
28	2階 内法額木	令和6年9月頃	火焔宝珠の形態、龍の脚の向き	国へ引渡し済
29	1階、2階 台御差床	令和7年12月頃	なし（前回踏襲）	国へ引渡し済
30	国王専用階段（おちょくい）内部手摺	令和6年12月頃	なし（前回踏襲）	国へ引渡し済
31	2階 外部窓手摺	令和6年12月頃	なし（前回踏襲）	国へ引渡し済





【彫刻ＷＧ部会】清書下図（和紙資料）の作製について

■清書下図（和紙資料）作製の方針 **※便宜上、製作に使用した「下絵」、清書した「清書下図」と呼び分ける。**

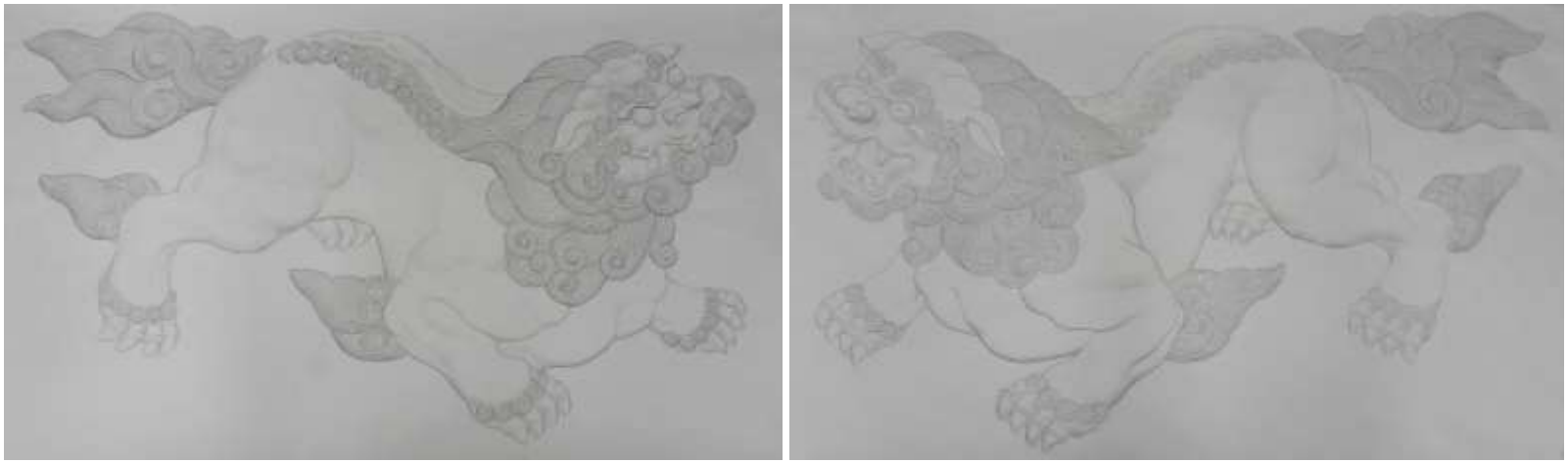
第7回監修会議で確認した内容

- 下絵をもとに製作を進めた製作物については、下絵の清書（和紙に墨書、原寸サイズ）を行う。
- 巻物化・保存箱製作・デジタルデータ化までを基本とし、製作物のサイズや作業状態に応じて詳細は適宜調整する。
- 清書およびそのデジタル化を行う理由は下記のとおり。
  - 下絵→粘土・石膏などの原型→部分試作→本製作など、彫刻作業を進めながら造形の検討を進めた経緯がある製作物については、作業段階毎に断片的に下絵の修正が行われており、最終的な造形が本製作のみでしか確認できない状況であるため。
  - 紙ベースの下絵は、サイズ感や位置関係などの把握が直感的で容易に行える。今後の製作時などに最終的な造形を容易に確認できる。
  - 清書したものをデジタルデータ化することで、清書した図の保管者以外も含め、容易に閲覧できる環境を整えられる。

■清書下図の作製対象一覧

No.	製作物名	作製
11	唐破風 妻飾（火焔宝珠、蟇股、金龍、瑞雲）	令和8年度
12	唐破風 懸魚	令和7年度 清書まで
13	入母屋破風 懸魚	令和7年度 清書まで
14	向拝 透欄間（牡丹唐草、獅子）	令和8年度
15	向拝奥の彫刻物（牡丹に獅子・唐草）	令和8年度
17	向拝奥の彫刻物（獅子）	令和7年度 軸装まで
26	２階 御差床 羽目板	令和7年度 清書まで
27	２階 天井額木	令和8年度
28	２階 内法額木	令和8年度

- 清書下図の作製については、2026.1/26に向拝奥の獅子（阿形/吽形）の監修を実施し、現在、清書の作業を終え、軸装の作業中。
- また、令和８年度までの製作体制を踏まえ、唐破風 懸魚、入母屋破風 懸魚、２階 御差床 羽目板についても、今年度に和紙への清書までの作業を終える予定としている。



向拝奥の獅子
清書下図
（左：吽形、右：阿形）
（2026.1/26撮影）

【焼物ＷＧ部会】龍頭棟飾、降棟　鬼瓦の進捗状況

- 焼物WG部会における製作物は製作工程をすべて完了し、首里城正殿に設置済み。



龍頭棟飾（大棟）（吽形）（2025.6/24撮影）



龍頭棟飾（大棟）（阿形）（2025.6/24撮影）



龍頭棟飾（唐破風）（2025.7/8撮影）





降棟　鬼瓦（吽形）（2025.5/22撮影）





降棟　鬼瓦（阿形）（2025.5/22撮影）

【染織ＷＧ部会】垂飾（琉球古刺繍など）の進捗状況

- 刺繍については、2024年6月中旬から本製作に着手し、計7回の監修を経て、2026年2月末には繻子両面の作業工程がすべて完了した。
- 刺繍が施された繻子は、「琉球古刺繍」など複数の繍い技法の技術継承に資するため、高精細デジタルスキャニングを行った後、飾玉を取り付けた内布と一体縫製する予定である。

繻子Ａ　▼2026.2.25撮影　※パノラマ合成



繻子Ｂ　▼2026.2.25撮影　※パノラマ合成



部分拡大







【染織ＷＧ部会】垂飾(飾玉など)の進捗状況

- 飾玉については、内布への取付作業（１列目→円弧・大玉→２列目）をほぼ終えている。

















【瓦類ＷＧ部会】赤瓦および磚(敷瓦)の進捗状況

- 赤瓦製造用の金型は、軒瓦の瓦当部一体成形可能な金型とし、令和の復元では県内で製造した。
- 赤瓦は沖縄県赤瓦事業協同組合所属の県内瓦工場が製造し、雲形飾瓦・宝珠は同組合所属の花鉢工場が製作した。
- 製造した赤瓦は令和６年７月から首里城正殿に搬入し、首里城正殿の屋根に赤瓦が葺かれた。また、令和８年２月には西之廊下、南之廊下の赤瓦を搬入した。正殿で約６万枚、両廊下で約１万３千枚の瓦を使用している。
- 正殿基壇部や西之廊下、南之廊下で使用される磚は、試験焼成を重ね、既設磚との比較検討のうえ、寸法、強度、耐滑り性、外観などの品質を満たす磚として、令和の復元では県内瓦工場にて製造している。



軒平瓦　軒丸瓦　雲形飾瓦(大)　雲形飾瓦(中)　雲形飾瓦(小)　宝珠



施工状況(R7.1.29)



正殿外観(R8.1撮影)



磚製造状況(R8.1撮影)

首里城未来基金（首里城歴史文化継承基金）　R4.4.1～

・首里城復興基金への寄附受付は、令和３年度末を以て終了。
・引き続き首里城を思う国内外の多くの皆様と連携・協働し、一体的に復興へ取り組むため、令和４年度から下記の基金・寄付金を創設した。

「首里城未来基金」の活用先について

首里城に象徴される固有の歴史と文化の継承を目的としており、
県が令和2年度に策定した「首里城復興基本計画」の
基本施策に位置づけられている以下2つの事業が対象となります。

Ⅰ
首里城復興基本計画
基本施策5(1)

伝統的な建築等の技術に係る人材育成事業

伝統的な建造物木工(宮大工等)、
彫刻、塗装・彩色等の
技術者育成

Ⅱ
首里城復興基本計画
基本施策6

古都首里の歴史的空間創出に係る事業

首里城周辺の歴史・文化施設整備、
首里城城壁等の修復、
歴史まちづくり推進等



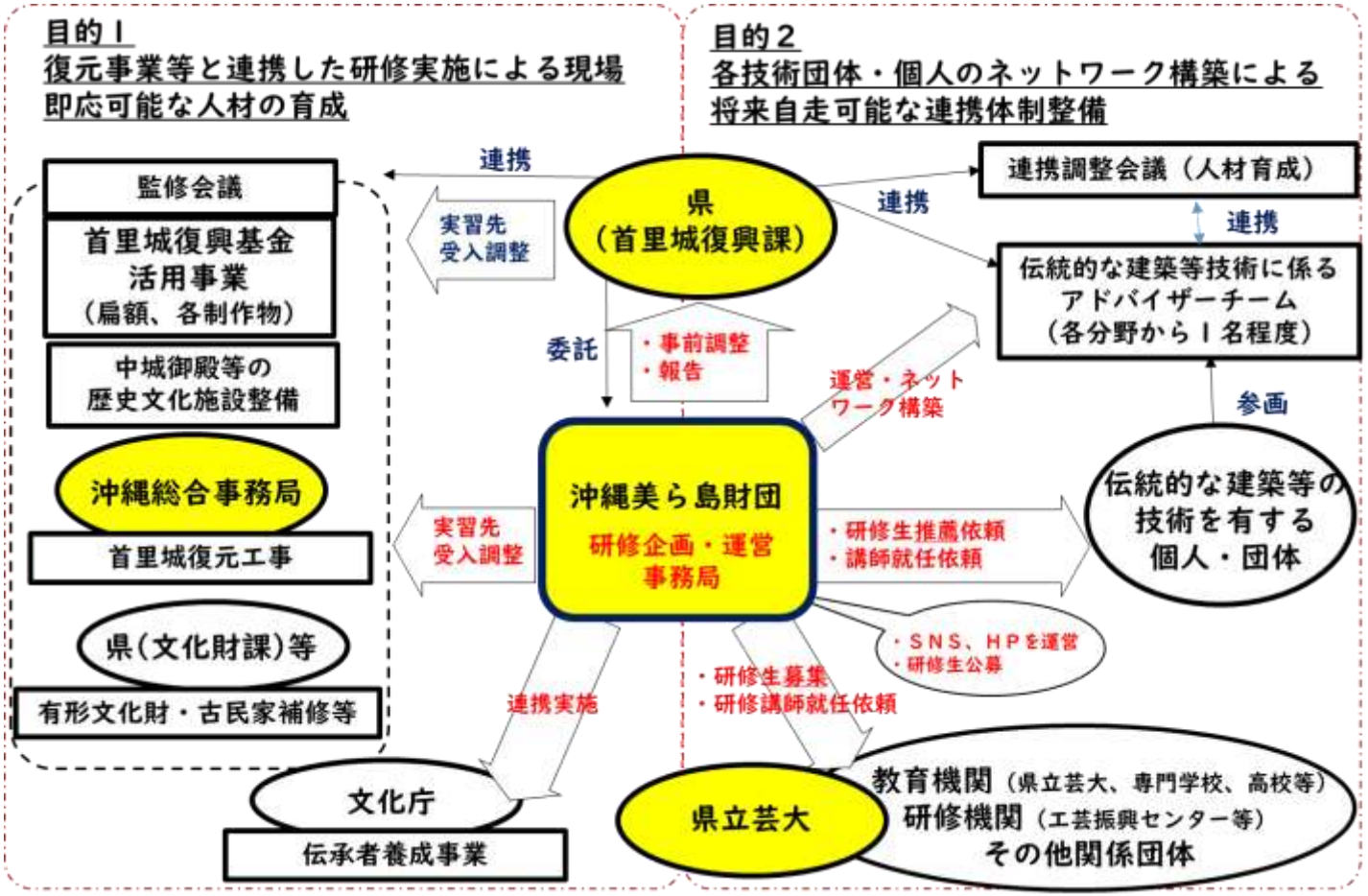
首里城歴史文化継承基金事業（R5～）

内閣府沖縄総合事務局、沖縄県、(一財)沖縄美ら島財団、県立芸術大学は、正殿や北殿・南殿等の焼失建物の復元、さらに復元後の保存修復等に必要となる伝統技術を継承すべく、復元、保存修復等の技術を有する人材の育成を進めるため、連携協定を締結。



首里城復元における技術継承・人材育成に係る連携協定締結式
令和4年11月22日 @首里城公園情報展示室

首里城未来基金を活用し、伝統的な建築等技術に係る人材育成に取り組む



首里城歴史文化継承基金事業（伝統的な建築等技術に係る人材育成）

Ｒ７年度研修概要

内　容：座学(※)、実習、首里城復元現場及び先進地視察
　　(※「琉球建築」の特徴と技術、彩色塗装について、文化財修復について、沖縄県内の修復事例 等)
期　間：令和７年９月～令和８年３月
人　数：建造物木工分野 ４名、木彫刻分野 ２名

令和７年度研修状況

建造物木工実習

沖縄伝統建築の屋根加工及び、柱と梁の継手加工を学ぶ実習





木彫刻実習

首里城正殿に掲げられる扁額の額縁彫刻をモチーフとし彫刻技術を学ぶ実習





ワークショップ

木彫刻分野は、次世代を担う高校生を対象に交流型のワークショップを開催





先進地視察

岡太神社、大瀧神社、丸岡城、大安禅寺などの重要文化財の視察（福井県）



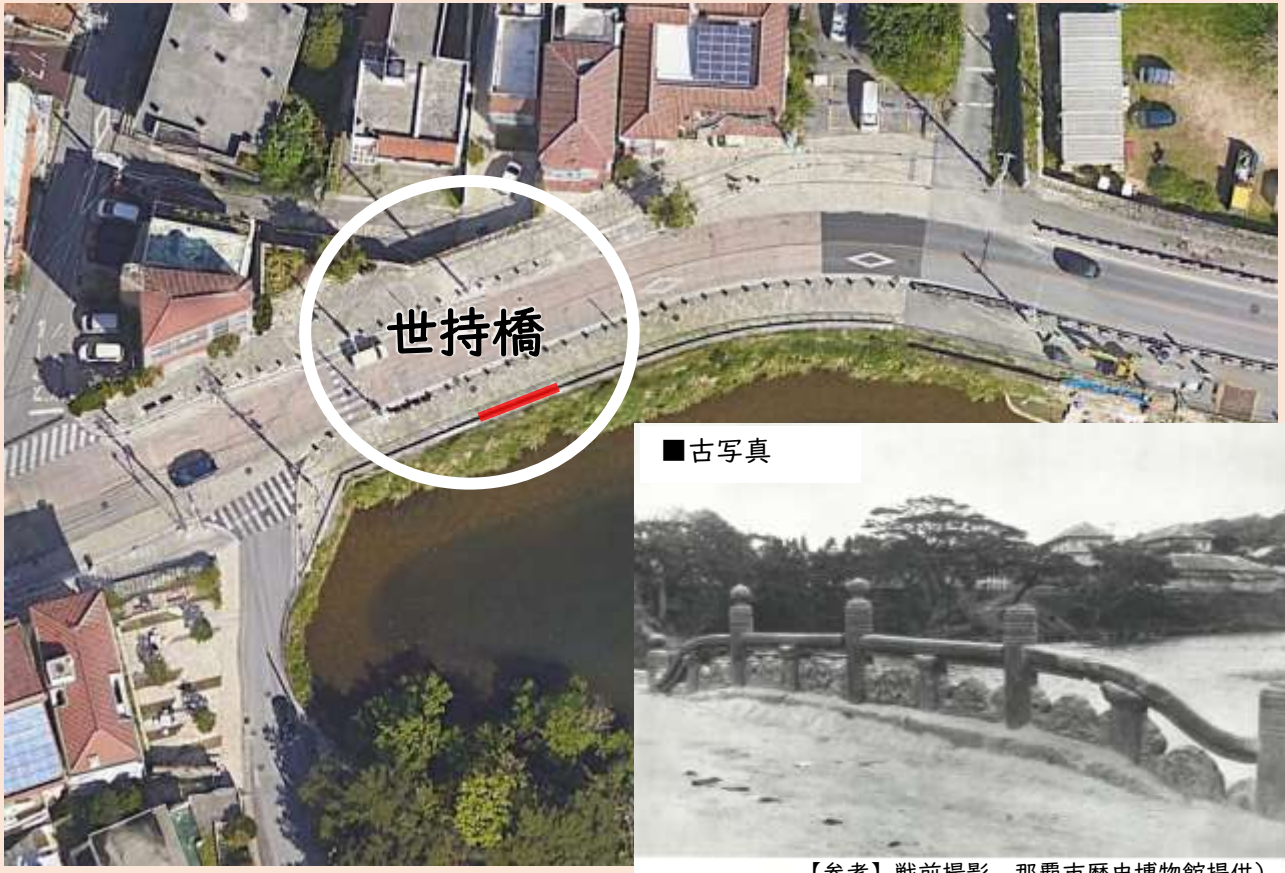


首里城歴史文化継承基金事業（古都首里の歴史的空間創出、世持橋勾欄整備）

事業概要

内　容：首里城周辺の歴史文化資源の再現整備として、龍潭近くの世持橋勾欄の製作工事を実施。
期　間：令和６年度～令和８年度
仕　様：龍潭側の高欄を整備対象とし、遺物と同じニービ素材（細粒砂岩）で、特徴である羽目の優れた彫刻を含め、往時の姿をできるかぎり再現する。

世持橋の位置・古写真等



■仕組作業の様子



■古写真

【参考】戦前撮影、那覇市歴史博物館提供）

■羽目板彫刻



これまでの県・国の動向

県 ・ 国の動向（2021年４月～2026年３月）

※関係主体欄の「美」は、（一財）沖縄美ら島財団

	年月日		
2021年	3月20日 ～4月18日	国 県 美	首里城赤瓦の漆喰はがしボランティア再開
	4月1日	国	第5回 首里城復元のための関係閣僚会議 幹事会
	4月23日	県	「首里城火災に係る再発防止策（基本的な方向性）」を公表
	5月20日	国	正殿復元工事に向けた新たな見学通路、 および仮設施設（原寸場、木材倉庫、素屋根）の整備を発表
	5月25日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回 木材・瓦類ワーキンググループ会議 → 沖縄県から、県産木材(オキナワウラジロガシ)候補木の選定方法や環境対策等を報告
	6月1日	県	沖縄県とSCSK株式会社が「首里城復興におけるDX推進に関する連携協定」を締結
	6月2日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回 北殿・南殿等ワーキンググループ会議
	6月7日	県	令和3年度 第1回 首里城復旧・復興推進本部会議（書面開催） → 首里城復興基本計画における基本施策の推進に向けた具体的な事業・取組として、 「首里城復興基本計画推進事業(70件)」を決定
	6月9日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回 彩色・彫刻ワーキンググループ会議
	6月14日～ 7月16日	県	首里城火災破損瓦等の利活用アイディア募集（令和3年度1次募集）

県 ・ 国の動向（2021年４月～2026年３月）

	年月日		
2021年	6月24日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回 防災ワーキンググループ会議
	6月30日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回 木材・瓦類ワーキンググループ会議
	7月7日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回 彩色・彫刻ワーキンググループ会議
	7月14日	国 県	令和3年度 第1回 中城御殿跡地整備検討委員会
	7月15日	県	令和3年度 第1回 首里城復旧・復興ワーキンググループ会議
	7月16日	国 県	令和3年度 第1回 首里杜地区整備検討委員会
	7月19日	県	令和3年度 第2回 首里城復旧・復興推進本部会議 → 首里城復興基金（寄附金）を活用し、県が石彫刻等の制作物、木材（小径材、造作材）、赤瓦（せん瓦、雲型飾瓦）などを調達・製作することについて、国に協議を申し入れる旨を決定
	7月20日	県	令和3年度 第32軍司令部壕保存・公開検討委員会 第3回会合
	7月26日	国 県	令和3年度 第1回 首里城公園管理体制構築検討委員会
	7月27日	国 県	令和3年度 第1回 首里城復元に向けた技術検討委員会
	7月30日	国 県	「首里城正殿復元工事に用いる制作物の譲渡に関する覚書」を締結 → 7/19に申し入れた協議について合意

県 ・ 国の動向（2021年４月～2026年３月）

	年月日		
2021年	8月13日	国 県	令和3年度 第1回 首里城扁額製作検討委員会
	8月13日	国	首里城御庭の磚（せん）瓦の撤去作業を公開
	9月15日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回 防災ワーキンググループ会議
	9月22日	県	第32軍司令部壕のドローン測量調査を公開
	9月29日	国	首里城御庭の北殿北側見学デッキの整備状況を公開
	9月30日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第3回 彩色・彫刻ワーキンググループ会議
	10月3日	県	首里城再興学術ネットワークシンポジウム2020開催（県立芸術大学・琉球大学との共催）
	10月5日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第3回 木材・瓦類ワーキンググループ会議
	10月8日	県	首里杜館の大型ディスプレイ、映像コンテンツ公開
	10月14日	県	令和3年度 第2回 首里城復旧・復興ワーキンググループ会議
	10月21日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回 北殿・南殿等ワーキンググループ会議

県 ・ 国の動向（2021年４月～2026年３月）

	年月日		
2021年	10月27日	国	首里城御庭の北殿北側見学デッキを一部供用開始
	10月28日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第3回 防災ワーキンググループ会議
	10月30日～11月3日	国 県 美	令和3年度 首里城復興祭（主催：首里城祭実行委員会）
	10月30日	県	令和3年度 首里城復興イベント（10月30日・31日・11月3日）
	11月1日	県	琉球歴史文化の日 制定記念式典 → 沖縄の歴史・文化への理解を深め、次世代に継承し、新たな歴史と文化の創出に向けて令和3年度より制定。
	11月2日	県	令和3年度 第2回「琉球文化ルネサンス」に関する万国津梁会議
	11月3日	国 県	玉城知事が首里城の現場を視察
	11月6日～11月14日	国 県 美	首里城赤瓦の漆喰はがしボランティア募集（最終）
	11月9日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第4回 彩色・彫刻ワーキンググループ会議
	11月10日	国 県	令和3年度 第2回 首里城公園管理体制構築検討委員会
	11月16日	国 県 美	首里城復興DX共創ラボのオープン（連携協定：SCSK株式会社）
	11月22日～1月7日	県	首里城火災破損瓦等の利活用アイディア募集（令和3年度2次募集） → 今回から瓦の種類を追加し、石材も利活用募集を開始

県 ・ 国の動向（2021年４月～2026年３月）

	年月日		
2021年	12月1日	国 県	令和3年度 第2回 首里城復元に向けた技術検討委員会
	12月21日	国 県	令和3年度 第2回 首里城扁額製作検討委員会
	12月24日	国 県	令和3年度 第2回 中城御殿跡地整備検討委員会
	12月27日	県	令和3年度 第32軍司令部壕保存・公開検討委員会 第4回会合
2022年	1月13日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第4回 防災ワーキンググループ会議
	1月19日	県	令和3年度 第3回 首里城復旧・復興ワーキンググループ会議
	1月24日	県	令和3年度 第3回「琉球文化ルネサンス」に関する万国津梁会議
	1月28日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第4回 木材・瓦類ワーキンググループ会議
	1月30日	国	首里城復元に向けた技術検討委員会 報告会
	1月31日	県	令和3年度 第3回 首里城復旧・復興推進本部会議 → ①首里城火災復旧・復興支援寄附金の受入終了(R4.3.31)、②首里城復興への新たな基金の創設、③正殿への県産木材の使用変更について決定。
	1月31日	国 県	令和3年度 第3回 首里城公園管理体制構築検討委員会

県 ・ 国の動向（2021年４月～2026年３月）

	年月日		
2022年	2月2日	県 美	第1回 令和首里城復興イベント実行委員会
	2月3日	国 県	令和3年度 第2回 首里杜地区整備検討委員会
	2月3日～ 3月1日	県	「首里城公園管理体制構築計画（案）」に対する県民意見等を募集
	2月17日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第5回 防災ワーキンググループ会議
	2月24日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第5回 彩色・彫刻ワーキンググループ会議
	2月28日	県 美	国頭村立安波小学校でのオキナワウラジロガシ苗木づくり
	3月1日	国 美	正殿塗装の顔料である「久志間切弁柄」の塗装実験を公開
	3月2日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第3回 北殿・南殿等ワーキンググループ会議
	3月4日	県	令和3年度 首里城復興イベント（3月4日～6日・12日・13日）
	3月8日	国 県	令和3年度 第3回 首里城扁額製作検討委員会

県 ・ 国の動向（2021年４月～2026年３月）

	年月日		
2022年	3月10日	国 県	令和3年度 第3回 首里杜地区整備検討委員会
	3月16日	国 県	令和3年度 第3回 中城御殿跡地整備検討委員会
	3月17日	国 県	令和3年度 第3回 首里城公園管理体制構築検討委員会
	3月23日	県	沖縄県議会で「沖縄県首里城歴史文化継承基金条例」が全会一致可決 → 首里城未来基金への寄附金の受入開始(令和4年4月1日～)が正式決定
	3月24日	国 県	令和3年度 第3回 首里城復元に向けた技術検討委員会
	3月28日	県	令和3年度 第32軍司令部壕保存・公開検討委員会 第5回会合
	3月	県	「中城御殿整備基本計画」を改定

県 ・ 国の動向（2021年４月～2026年３月）

	年月日		
2022年	4月	県	「首里杜地区整備基本計画」を策定
	4月	県	「首里城公園管理体制構築計画」を策定
	4月1日	県	首里城未来基金（沖縄県首里城歴史文化継承基金）への寄附金受付を開始
	6月7日	国 県	令和4年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回彩色・彫刻ワーキンググループ会議
	6月22日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回 防災ワーキンググループ会議
	7月6日	国 県	令和4年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回木材・瓦類ワーキンググループ会議
	7月21日	国 県	令和4年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回北殿・南殿等ワーキンググループ会議
	8月1日	国 県	令和4年度 第1回 首里城公園管理体制構築検討委員会
	8月3日	国 県 美	首里城復興ボランティア：赤瓦シャモットづくり（8月3日～11月30日）
	8月9日	国 県	令和4年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回 防災ワーキンググループ会議

県 ・ 国の動向（2021年４月～2026年３月）

	年月日		
2022年	8月25日	国 県	令和4年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回彩色･彫刻ワーキンググループ会議
	9月14日	国 県	令和4年度 第1回 中城御殿跡地整備検討委員会
	9月21日	県 那 地	令和4年度 第1回 首里杜まちづくり推進協議会
	9月28日	国 県	令和4年度 第1回 首里城復元に向けた技術検討委員会
	10月3日	国 県	令和4年度 第1回 首里城扁額製作検討委員会
	10月25日	国 県	令和4年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回北殿･南殿等ワーキンググループ会議
	10月29日	県 国頭	令和首里城復興イベント木曳式「国頭フェスティバル」「木曳パレード」開催
	10月30日	県 那	令和首里城復興イベント木曳式「那覇フェスティバル」開催
	11月3日	県 美 地	令和首里城復興イベント木曳式「首里城木遣行列」「木遣イベント」「首里城復興祭」開催
	11月3日	国	首里城正殿復元整備工事 起工式開催

県 ・ 国の動向（2021年４月～2026年３月）

	年月日		
2022年	11月9日	国 県	令和4年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第3回彩色・彫刻ワーキンググループ会議
	11月13日	県 学	首里城再興学術ネットワークシンポジウム2022開催（琉球大学、県立芸術大学と三者共催）
	11月22日	国 県 美	首里城復元における技術継承・人材育成に係る連携協定の締結
	11月25日	県	首里城図柄入り自動車ナンバープレートのデザイン決定
	11月29日	国 県	令和4年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回木材・瓦類ワーキンググループ会議
	12月6日	国 県	令和4年度 第1回 首里城復興基金事業 監修会議
	12月16日	国 県	令和4年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第3回 防災ワーキンググループ会議
2023年	1月13日	国 県 美	首里城復興ボランティア：うるし塗り原料「ニービの粉」製作（1月13日～5月14日）
	1月24日	国 県	令和4年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第4回彩色・彫刻ワーキンググループ会議
	2月8日	国 県	令和4年度 第2回 首里城公園管理体制構築検討委員会

県 ・ 国の動向（2021年４月～2026年３月）

	年月日		
2023年	2月18日	県	令和4年度 首里城復興イベント（2/18・2/19・2/25・2/26・3/4・3/5）
	2月22日	国 県	令和4年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第3回北殿・南殿等ワーキンググループ会議
	3月2日	国 県	令和4年度 第2回 首里城扁額製作検討委員会
	3月7日	国 県	令和4年度 第2回 首里城復興基金事業 監修会議
	3月9日	国 県	令和4年度 第2回 首里城復元に向けた技術検討委員会
	3月15日	国 県	令和4年度 第3回 首里城公園管理体制構築検討委員会
	3月16日	国 県 美	首里城復元における技術継承・人材育成 第1回連携調整会議
	3月17日	国 県	令和4年度 第2回 中城御殿跡地整備検討委員会
	3月23日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回報告会
	3月24日	県 那 地	令和4年度 第2回 首里杜まちづくり推進協議会

県 ・ 国の動向（2021年４月～2026年３月）

	年月日		
2023年	5月18日	国 県	令和5年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回彩色・彫刻／木材・瓦類合同ワーキンググループ会議
	6月12日	国 県	令和5年度 第1回 中城御殿跡地整備検討委員会
	6月16日	国 県	令和5年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回 防災ワーキンググループ会議
	7月13日	国 県	令和5年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回北殿・南殿ワーキンググループ会議
	7月20日	国 県	令和5年度 第3回 首里城復興基金事業 監修会議
	7月21日	国 県 美	首里城復興ボランティア：うるし塗り原料「ニービの粉」製作（7月21日～9月8日）
	8月8日	国 県	令和5年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回彩色・彫刻／木材・瓦類合同ワーキンググループ会議
	8月31日	県 那 地	令和5年度 第1回 首里杜まちづくり推進協議会
	9月5日	国 県	令和5年度 第1回 首里城復元に向けた技術検討委員会
	9月9日	国	特別公開（立柱記念イベント）9/9~9/10
	10月10日	国 県	令和5年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回北殿・南殿ワーキンググループ会議

県 ・ 国の動向（2021年４月～2026年３月）

	年月日		
2023年	10月11日	国 県	令和5年度 第1回 首里城公園管理体制構築検討委員会
	10月23日	県	首里城図柄入り自動車ナンバープレート発行記念イベント
	10月27日	県	首里城破損瓦ものづくりイベント（10/27～10/29）
	10月29日	県 学	首里城再興学術ネットワークシンポジウム2023開催 （琉球大学、県立芸術大学と三者共催）
	11月3日	美	首里城復興祭（11/3～11/5）
	11月15日	国 県	令和5年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回 防災ワーキンググループ会議
	12月9日	県	令和5年度 首里城復興イベント（12/9～2/10）
	12月15日	国 県	令和5年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第3回彩色・彫刻／木材・瓦類合同ワーキンググループ会議
	12月20日	国 県	令和5年度 第2回 中城御殿跡地整備検討委員会
	12月21日	国 県	令和5年度 第1回 首里城扁額製作検討委員会

県 ・ 国の動向（2021年４月～2026年３月）

	年月日		
2024年	1月18日	国 県	令和5年度 第2回 首里城公園管理体制構築検討委員会
	1月23日	国 県	令和5年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第3回北殿・南殿等ワーキンググループ会議
	2月17日	県	令和5年度 首里城復興イベント（2/17～2/18）
	2月21日	国 県	令和5年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第3回 防災ワーキンググループ会議
	2月23日	国 県 美	端材弁柄塗り体験イベント（2/23～3/3）
	2月29日	国 県	令和5年度 第3回 首里城公園管理体制構築検討委員会
	3月7日	国 県	令和5年度 第4回 首里城復興基金事業 監修会議
	3月15日	国 県 美	首里城復元における技術継承・人材育成 第2回連携調整会議
	3月21日	国 県	令和5年度 第2回 首里城扁額製作検討委員会
	3月22日	国 県	令和5年度 第2回 首里城復元に向けた技術検討委員会
	3月26日	県 那 地	令和5年度 第2回 首里杜まちづくり推進協議会

県 ・ 国の動向（2021年４月～2026年３月）

	年月日		
2024年	5月17日	国 県	令和6年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回彩色・彫刻／木材・瓦類合同ワーキンググループ会議
	5月25日	国	上棟記念イベント（5/25～5/26）
	6月6日	国 県 那 美	令和6年度 第1回 中城御殿跡地整備検討委員会
	6月14日	国 県	令和6年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回 北殿・南殿等ワーキンググループ会議
	7月30日	国 県	令和6年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回 防災ワーキンググループ会議
	9月18日	国 県	令和6年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回彩色・彫刻／木材・瓦類合同ワーキンググループ会議
	9月19日	国 県	令和6年度 第5回 首里城復興基金事業 監修会議
	9月19日	国 県 美	首里城復元における技術継承・人材育成 第3回 連携調整会議
	9月25日	国 県	令和6年度 第1回 首里城扁額製作検討委員会
	10月9日	国 県	令和6年度 第1回 首里城復元に向けた技術検討委員会
	10月14日	県 学	首里城再興学術ネットワークシンポジウム2024開催 （琉球大学、県立芸術大学と三者共催）

県 ・ 国の動向（2021年４月～2026年３月）

	年月日		
2024年	10月18日	国 県 那	令和6年度 第1回 首里城公園管理体制構築検討委員会
	10月29日	国 県 那 美	令和6年度 第2回 中城御殿跡地整備検討委員会
	11月2日	国 県 那 美	中城御殿起工式・覚書調印式
	11月2日	美	首里城復興祭（11/2～11/4）
	11月6日	県 那 地	令和6年度 第1回 首里杜まちづくり推進協議会
	11月7日	国 県	令和6年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回 防災ワーキンググループ会議
	11月24日	県	令和6年度 県民等参画促進イベント（商業施設での首里城復興「お出かけ講座」） （南部11/24,中部11/30,北部1/26,久米島2/16）
	11月28日	県 那	令和6年度 第1回 龍潭周辺整備検討部会
	12月7日	県	令和6年度 首里城復興イベント （昼の部：12/7・8,12/14・15,12/21・22 夜の部：12/13～12/16,12/20-12/23）
	12月20日	国 県	令和6年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第3回彩色・彫刻／木材・瓦類合同ワーキンググループ会議
	12月24日	県 那	令和6年度 第2回 龍潭周辺整備検討部会

県 ・ 国の動向（2021年４月～2026年３月）

	年月日		
2025年	1月10日	国 県 那 美	令和6年度 第1回 中城御殿エリア検討部会
	1月20日	国 県 那	令和6年度 第2回 首里城公園管理体制構築検討委員会
	1月28日	国 県	令和6年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回 北殿･南殿等／第3回 防災合同ワーキンググループ会議
	2月12日	県 那	令和6年度 第3回 龍潭周辺整備検討部会
	2月13日	国 県 美	首里城復元における技術継承･人材育成 第4回 連携調整会議
	2月21日	国 県	令和6年度 第2回 首里城復元に向けた技術検討委員会
	3月6日	国 県 那 美	令和6年度 第3回 中城御殿跡地整備検討委員会
	3月12日	国 県	令和6年度 第2回 首里城扁額製作検討委員会
	3月13日	国 県	令和6年度 第6回 首里城復興基金事業 監修会議
	3月21日	県 那 地	令和6年度 第2回 首里杜まちづくり推進協議会

県 ・ 国の動向（2021年４月～2026年３月）

	年月日		
2025年	6月26日	国 県	令和7年度　首里城復元に向けた技術検討委員会 第１回　北殿・南殿等／第１回　防災合同ワーキンググループ会議
	7月8日	国 県	令和7年度　首里城復元に向けた技術検討委員会 第１回　彩色・彫刻／木材・瓦類合同ワーキンググループ会議
	8月13日	国 県 那 美	令和７年度　第１回　中城御殿跡地整備検討委員会
	8月27日	国 県	令和7年度　第１回　首里城復元に向けた技術検討委員会
	8月28日	県 那 地	令和７年度　第１回　首里杜まちづくり推進協議会
	9月10日	国 県	令和７年度　第１回　首里城扁額製作検討委員会
	9月17日	国 県	令和７年度　第７回　首里城復興基金事業　監修会議
	10月3日	国 県 那	令和７年度　第1回　首里城公園管理体制構築検討委員会
	10月7日	県	令和7年度　県民等参画促進イベント（首里城復興「お出かけ講座」） （第1回10/7～【全15回】）
	10月12日	県 学	首里城再興学術ネットワークシンポジウム2025開催 （琉球大学、県立芸術大学と三者共催）
	10月16日	国 県	令和7年度　首里城復元に向けた技術検討委員会 第２回　北殿・南殿等／第２回　防災合同ワーキンググループ会議
	10月22日	国 県 那 美	首里城復元における技術継承・人材育成　第5回　連携調整会議

県 ・ 国の動向（2021年４月～2026年３月）

	年月日		
2025年	11月1日	美	首里城復興祭（11/1～11/3）
	11月12日	県 那	令和７年度　第１回　中城御殿エリア・龍潭周辺検討部会
2026年	1月28日	国 県 那 美	令和７年度　第2回　中城御殿跡地整備検討委員会
	1月29日	国 県	令和7年度　首里城復元に向けた技術検討委員会 第３回　北殿・南殿等／第３回　防災合同ワーキンググループ会議
	2月2日	国 県 那	令和７年度　第2回　首里城公園管理体制構築検討委員会
	2月18日	国 県 那 美	首里城復元における技術継承・人材育成　第6回　連携調整会議
	2月20日	国 県	令和7年度　第2回　首里城復元に向けた技術検討委員会
	3月16日	県 那 地	令和７年度　第2回　首里杜まちづくり推進協議会

東のアザナより正殿方向を見る



R7.12撮影